

# 官報號外

昭和十六年一月二十八日

## ○第七十六回 帝國議會貴族院議事速記錄第四號

昭和十六年一月二十七日(月曜日)午前十時

六分開議

議事日程 第四號

昭和十六年一月二十七日

午前十時開議

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件(第  
二日)

第二 民法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 非訴事件手續法中改正法律案  
(政府提出)

第一讀會

第四 戶籍法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第五 時艱克服ニ關スル決議案(公爵  
大山柏君外六名發議)

會 議

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ  
ス

〔高山書記官朗讀〕

去ル二十一日委員會ニ於テ當選シタル正副  
委員長ノ氏名左ノ如シ

資格審査委員會

委員長 伯爵溝口 直亮君  
副委員長 男爵松岡 均平君

懲罰委員會

委員長 侯爵大久保利武君  
副委員長 男爵高木 喜寛君  
同日分科會ニ於テ當選シタル正副主查ノ氏  
名左ノ如シ

請願委員會

第一分科

主查 男爵中川 良長君

副主查 竹内 可吉君

第二分科

主查 男爵高木 正得君

副主查 男爵中御門 經民君

第三分科

主查 伯爵柳澤 保承君

副主查 男爵八代五郎造君

第四分科

主查 平塚 廣義君

副主查 男爵神山 嘉瑞君

第一分科

主查 子爵土岐 章君

副主查 男爵明石 元長君

副主查 男爵山川 建君

第三分科

主查 伯爵山本 清君  
副主查 侯爵四條 隆德君

第四分科

主查 松村眞一郎君  
副主查 男爵坊城 傑賢君

第五分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第六分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第七分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第八分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第九分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第十分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第十分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第十一分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

第十二分科

主查 男爵山中秀二郎君  
副主查 予爵安藤 信昭君

領セリ

政府委員

企畫院部長 竹内 德治君

農林省所管事務政府委員

鐵道省工作局長 德永 晋作君

厚生省所管事務政府委員

保險院總務局長 川村 秀文君

保險院社會保險局長 木村 清司君

軍事保護院業務局長 前田 積君

軍事保護院援護局長 曽我 梶松君

軍事保護院業務局長 横井安右衛門君

鐵道省需品局長 堀木 錄三君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表(第一回報告)

去ル二十四日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ  
民法中改正法律案

非訴事件手續法中改正法律案

戸籍法中改正法律案

同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

時艱克服ニ關スル決議案(公爵大山柏君  
外六名發議)

一昨二十五日政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ  
陸軍軍人軍屬違警罪處分例中改正法律案

海軍軍人軍屬違警罪處分例中改正法律案  
同日內閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十六回帝  
國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒ヲ受

明治一千五百三月三十日  
第三種郵便物認可

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程變更ニ付政  
府ノ同意ヲ得マシタ、時艱克服ニ關スル決  
議案、公爵大山相君外六名發議、會議、發  
議者ニ對シ其ノ趣旨御説明ノ發言ヲ御許シ  
致シマス、一條公爵

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サル モ参照ノ  
タメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

時艱克服ニ關スル決議案  
右提出候也

昭和十六年一月二十四日

發議者

公爵大山 柏 公爵一條 實孝  
伯爵酒井 忠正 男爵千秋 季隆  
内田 重成 塚本 清治  
倉知 鐵吉

時艱克服ニ關スル決議  
政府ハ東亞安定ニ關シ屢次賜レル 勅語  
ヲ遵奉シ内外ノ情勢ヲ洞察シ全力ヲ傾注  
シテ帝國不動ノ國策ヲ遂行シ以テ上ハ  
歡慮ヲ安ンジ奉リ下ハ國民ノ輿望ニ乖カ  
ザラムコトヲ期スベシ

右決議ス

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 只今上程セラマシタ  
ル時艱克服ニ關スル決議案ノ提案理由ヲ申  
述ベタイト存ジマス、支那事變勃發以來第  
五年ヲ迎ヘ、其ノ間歐洲戰亂ノ發生ヲ見ル  
ニ至リ、世界ヲ舉ゲテ混亂益甚ダシク、今  
ヤ我ガ國內外ノ情勢ハ、愈々多難ヲ加フ  
ルニ至リマシタ、畏クモ今期議會ノ開院式  
ニ方リテ賜リマシタ御勅語中ニモ、「世局ハ  
曠古ノ騷亂其ノ底止スル所ヲ知ラス」ト宣  
ハセラレテ在ルノデゴザイマシテ、聖慮深  
遠、誠ニ恐懼措ク能ハザル次第ゴザイマ  
ス、我々國民ハ、國ヲ舉ゲ全力以ラス、ト宣  
テ支那事變ヲ處理シ、東亞ノ新秩序ヲ建設  
シテ之ガ安定ヲ確保シ、延イテハ世界平和

贊成者

公爵桂 廣太郎 侯爵大隈 信常  
侯爵中御門 經恭 侯爵德川 賴貞  
侯爵四條 隆徳 伯爵橋本 實斐  
子爵大久保 立 伯爵谷 儀一  
子爵高橋 是賢 伯爵松平 康春  
松井 茂 芳澤 謙吉  
小原 直 河井 弥八  
出淵 勝次 岡 喜七郎  
柴田 喬三郎 男爵前田 勇  
男爵黒田 長和 白根 竹介  
男爵矢吹 省三 男爵大森 佳一  
男爵柴山 昌生 男爵飯田精太郎  
男爵中村 謙一 男爵松平外與麿  
中川 望 山岡萬之助

次田大三郎 古島 一雄  
小坂 順造 澄澤 金藏  
瀧川 儀作 野村 德七  
光永 星郎 江口 定條  
佐々木八十八 岩田 宙造  
平沼 亮三 小野 耕一  
大西虎之介 伯爵松平頼壽殿

ヲ招來シ、人類福祉ヲ増進セムガ爲ニ、腐  
心致シツ、アル次第アリマスガ、此ノ事  
議案、公爵大山相君外六名發議、會議、發  
議者ニ對シ其ノ趣旨御説明ノ發言ヲ御許シ  
致シマス、一條公爵

ナルヤ、屢々賜リマシタル御勅語ノ中ニモ明  
カナルガ如ク、既ニ一貫シタル帝國ノ國策  
トシテ微動ダモ致サヌ所デアリマス、然ル  
ニ世界各國ノ中ニハ、固ヨリ我ガ帝國ノ眞  
意ヲ了解シテ、我ガ國ガ東洋ニ於ケル指導  
者的地位ニ立チ、東亞安定ノ推進力トナリ  
ツ、アルコトヲ是認シテ居ル國ガアリマス  
ルト同時ニ、尙帝國ノ眞意ヲ了解スルニ至ラ  
ズ、所謂敵性行爲ヲ露呈致シマシテ、帝國  
ノ使命達成上ニ多大ノ障碍ヲ與ヘツ、アル  
國モアリマスルコトハ、眞ニ遺憾ニ堪ヘナ  
イ次第アリマス、政府ニ於カレマシテハ  
シテ事ニ當ルベキコトハ勿論デアリマスル  
ガ、未だ我ガ眞意ヲ了解セザルモノニ對シ  
マシテモ、遽ニ之ヲ敵國ト看做スガ如キコ  
トナク、省ミテ已レノ努力ノ足ラザル所ヲ  
憂ヘ、進ンデ我レノ眞意ヲ了解セシムルヤ  
ウ一段ノ努力ヲ拂ハレマシテ、能フ限リ外  
交手段ヲ以テ此ノ多難ナル時局ヲ打開スル  
ニ努メラレタイノデアリマス、而モ尙且不  
幸ニシテ我ガ眞意ヲ解セズ、飽ク迄モ我ガ  
國策ノ遂行ヲ阻害スルモノガアリマシタナ  
ラバ、須ラク斷乎トシテ之ヲ排撃シナケレ  
バナリマセヌ、由來、世界ニ於テ國ヲ成スモ  
ノ數多クゴザイマスガ、何レモ自國ノ利益  
ノ一團ト化セシメ、以テ國家總力ヲ十二分  
ニ發揮スルコトガ出來マシタナラバ、此ノ  
時艱ヲ克服シ、以テ上宸襟ヲ安ンジ奉り、  
下國民ノ輿望ニ副ハレルコトモ、亦難カラ  
ザルコト考フルノデアリマス、是ヨリ決  
議案ヲ朗讀致シマス

此ニ在ルモノト考フルノデアリマス、加之、近時  
洋ノ東西ヲ問ハズ、徒ニ聲ヲ大ニシテ恫喝  
ヲ事トスルモノ、前後ノ思慮ナク輕舉妄動  
スルモノガ增加致シタノデアリマス、此ノ  
際、政府トシテハ毅然タル態度ヲ以テ事ニ臨  
ミ、徒ニ眼前ノ事象ニ眩惑セラル、コトナ  
ク、光輝アル我ガ二千六百年ノ歴史、就中  
明治維新以來ノ近代國家的躍進日本ノ發展  
過程ニ鑑ミマシテ、能ク内外ノ情勢ヲ洞察  
シ、政治力ヲ強化シテ國民ヲ率ヰ、諸般ノ  
畫策施設ハ、悉ク之ヲ東亞安定ノ大理念ニ  
歸一セシムルコトニ専念セラレタインデア  
リマス、幸ニ只今ハ帝國議會開會中デアリ  
マス、貴族院ト致シマシテハ、憲法ノ條章  
ニ循ヒ、政府ニ對シ質スペキハ質シ、述ブ  
ベキハ述べ、全力ヲ擧ゲテ御協力申上グル考  
デアリマスルカラ、政府ニ於カレマシテモ、  
議會ヲ通ジテ國民ニ對シ、知ラスベキハ之  
ヲ知ラシメテ其ノ嚮フ所ヲ統合シ、國民ヲ  
シテ君國ノ爲眞ニ一身ヲ挺スルノ覺悟ヲ固  
メシムルヤウ、從來トテモ十分御盡力ノアッ  
タコトトハ存ジマスガ、此ノ際一層ノ御  
努力アラムコトヲ切望致スノデゴザイマス、  
斯クシテ國民精神ヲ昂揚シ國ヲ擧ゲテ熱火  
ノ一團ト化セシメ、以テ國家總力ヲ十二分  
ニ發揮スルコトガ出來マシタナラバ、此ノ  
時艱ヲ克服シ、以テ上宸襟ヲ安ンジ奉り、  
下國民ノ輿望ニ副ハレルコトモ、亦難カラ  
ザルコト考フルノデアリマス、是ヨリ決  
議案ヲ朗讀致シマス

時艱克服ニ關スル決議

政府ハ東亞安定ニ關シ屢次賜レル 勅語

ヲ遵奉シ内外ノ情勢ヲ洞察シ全力ヲ傾注

シテ帝國不動ノ國策ヲ遂行シ以テ上ハ

徽慶ヲ安ンジ奉リ下ハ國民ノ輿望ニ乖カ

ザラムコトヲ期スベシ

右決議ス

何卒全會一致ヲ以テ御賛成アラムコトヲ希

望致シマス

〔拍手起ル〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 別ニ御發言モナ

イト認メマスルカラ、是ヨリ採決ヲ致シマ

ス、本決議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマ

ス  
〔總員起立〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 全會一致ト認メ

マス、此ノ際、内閣總理大臣ヨリ發言ヲ求

メラレテ居リマス、近衛内閣總理大臣

〔國務大臣公爵近衛文麿君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 只今可決セ

ラレマシタ決議ノ御趣旨ニ付キマシテ

ハ、政府ニ於キマシテモ、組閣以來特ニ意

ヲ用ヒテ來タ所デアリマス、今後一層全力

ヲ傾注致シマシテ、御趣旨ニ副フベク努メ

タイト存ジマス

〔拍手起ル〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 此ノ際日程ヲ變更シテ、第二、第三、第四ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第二、民法

中改正法律案、日程第三、非訟事件手續法

中改正法律案、日程第四、戸籍法中改正法

律案、政府提出、第一讀會 柳川司法大臣

民法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十六年一月二十四日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿

司法大臣 柳川 平助

民法中改正法律案

民法中左ノ通改正ス

第七百四十九條第三項中「若シ家族力其

催告ニ應セサルトキハ戸主ハ之ヲ離籍ス

ルコトヲ得」ヲ「若シ家族カ正當ノ理由ナ

クシテ其催告ニ應セサルトキハ戸主ハ裁

判所ノ許可ヲ得テ之ヲ離籍スルコトヲ得」

ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

非訟事件手續法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十六年一月二十四日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿

司法大臣 柳川 平助

戸籍法中改正法律案

第十四條第四項ヲ第五項トシ同項中「原

非訟事件手續法中改正法律案  
目録及第二編中「第六章 隱居、廢家、子

ノ鬱戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル

事件」ヲ「第六章 離籍、隱居、廢家、子

ノ徵戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル

事件」ニ改ム

第二編第六章中第九十條ノ前ニ左ノ一條

ヲ加フ

第八十九條ノ二 離籍ノ許可ハ離籍ヲ爲

サントス戸主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前離籍セラレント

スル家族ヲ審訊スルコトヲ要ス

離籍ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ

前項ノ家族ニ限リ即時抗告ヲ爲スコト

ヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

戸籍法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス

昭和十六年一月二十四日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿

司法大臣 柳川 平助

戸籍法中改正法律案

第十四條第四項ヲ第五項トシ同項中「原

本ト相違ナキ旨」ノ下ニ「及ヒ請求ニ因リ除籍者ニ關スル記載ノ謄寫ヲ省略シタルトキハ其旨」ヲ加ヘ同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

ノ謄本ハ請求ニ因リ除籍者ニ關スル記載

トキハ其旨」ヲ加ヘ同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

ノ謄寫ヲ省略シテ之ヲ作ルコトヲ得

トスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

前條第二項、第三項及ヒ第五項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條ノ三 戸籍ニ記載シタル事項ニ付キ證明ヲ受ケントスル者ハ手數料ヲ納付シテ之ヲ請求スルコトヲ得

第十四條第二項、第三項及ヒ第五項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣柳川平助君演壇ニ登ル)

○國務大臣(柳川平助君) 只今議題ニナリ

マシタ民法中改正法律案及非訟事件手續法

中改正法律案ニ付キマシテ、提案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲマス、現行民法ニ於キマシテ

ハ、家族ハ戸主ノ意ニ反シテ其ノ居所ヲ定

タル居所ニ在ラザルトキハ、戸主ハ之ニ對

シ相當ノ期間ヲ定メテ、自己ノ指定シタル

ムルコトヲ得ズ、若シ家族ガ戸主ノ指定シ

場所ニ居所ヲ移スベキ旨ヲ催告シ、家族ガ

之ニ應ゼザルトキハ、之ヲ離籍シ、其ノ家

ヨリ除クコトガ出來ルコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、此ノ離籍ハ極メテ重大ナル制裁デアリマシテ、一家統率ノ必要上、已ムヲ得ザル場合ニ於テノミ之ヲ行フベキコトハ勿論デアリマスガ、實際ニ於キマシテハ、是ガ不當ノ目的ヲ以テ濫用セラレルコトガ往々アルノデアリマシテ、爲ニ忌ムベキ紛争ヲ惹起スルガ如キ事例ガ近時特ニ著シク增加致シマシタコトハ、甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、此ノ民法中改正法律案ハ、斯クノ如キ弊害ヲ防止スル爲、家族ガ正當ノ理由ナクシテ戸主ノ居所移轉ノ催告ニ應ゼザル場合ニ、戸主ハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ離籍スルヲ得モノト改メ、即チ果シテ右正當ノ理由アリヤ否ヤニ付、先づ裁判所ノ適正ナル判断ヲ受ケシメムトスルモノデアリマス、次ニ非訟事件手續法中改正法律案ハ、右民法ノ改正ニ伴ヒマシテ、右離籍ノ許可ニ關スル手續規定ヲ同法中ニ設ケムトスルモノデアリマス、何卒十分御審議ノ上、本案ニ對シ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望致ス次第デアリマス、次ニ戸籍法中改正法律案ニ付キマシテ、其ノ提案ノ趣旨ヲ御説明申上ガマス、今次事變勃發以來、戸籍事務ハ著シク繁忙ノ度ヲ加へ、特ニ諸般ノ身分證明ノ用ニ供スル爲戸籍ノ謄本、又ハ抄本ノ交付ヲ申請スル件數ガ、年毎ニ激増致シマシテ、全國各地ノ戸籍吏員ハ其ノ處理ニ忙殺セラレ、延イテ之が處理ニ迅速ヲ缺キマシテ、一般國民ニ迷惑ヲ及スガ如キコトモ尠カラザルハ、甚ダ遺憾

ニ存ズル次第デアリマス、本案ハ此ノ實情ニ鑑ミマシテ、戸籍法ニ改正ヲ加ヘ、戸籍ノ謄本ハ、請求ニ依リ除籍者ニ關スル記載ノ謄寫ヲ省略シテ之ヲ作ルコトヲ得ルモノトシ、又既ニ有スル戸籍ノ謄本若シクハ抄本ノ記載事項ニ其ノ後變更ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戸籍ニ記載シタル事項ニ付證明ヲ受ケテ、謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルノ途ヲ拓キマシテ、以テ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒十分ニ御審議ノ上、本案ニ御協賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマスケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

○讀長(伯爵松平義重) 別ニ御質疑モナケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

兵役法中改正法律案外二件特別委員  
侯爵松平義重(音吉) 宣政君 子爵立見豊丸君  
男爵(音吉)良進君 男爵(音吉)泰一君  
大福(音吉)八郎君 澤田(音吉)河君  
鶴吉君 緒城(音吉)安次君  
〔下村宏君演壇ニ登ル〕

○議長(伯爵松平義重) 日程第一、國務大臣ノ演説ニ關スル件、通告願ニ依リ質疑ヲ御許シ致シマス、下村宏君

ノ質疑ハ取止メニナツテ居リマス、貴族院ニ於テモ、質疑ノ通告告ヲ取消サレタル方モノ極メテ通俗ニ、平易ニハ御答辯アラムコトヲ期待スル者デアリマス、尙私ノ今日述ニナツテ居リマス、恐ラクハ今日程、國民ガトシ、又既ニ有スル戸籍ノ謄本若シクハ抄本ノ記載事項ニ其ノ後變更ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戸籍ニ記載シタル事項ニ付證明ヲ受ケテ、謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルノ途ヲ拓キマシテ、以テ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒十分ニ御審議ノ上、本案ニ御協賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマスケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

○讀長(伯爵松平義重) 别ニ御質疑モナケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

兵役法中改正法律案外二件特別委員  
侯爵松平義重(音吉) 宣政君 子爵立見豊丸君  
男爵(音吉)良進君 男爵(音吉)泰一君  
大福(音吉)八郎君 澤田(音吉)河君  
鶴吉君 緒城(音吉)安次君  
〔下村宏君演壇ニ登ル〕

○下村宏君 私ハ質問ニ先ダチマシテ、一言所懷ヲ述ベク存ジマス、此ノ重大ナルヲ御許シ致シマス、下村宏君

ノ質疑ハ取止メニナツテ居リマス、貴族院ニ於テモ、質疑ノ通告告ヲ取消サレタル方モノ極メテ通俗ニ、平易ニハ御答辯アラムコトヲ期待スル者デアリマス、尙私ノ今日述ニナツテ居リマス、恐ラクハ今日程、國民ガトシ、又既ニ有スル戸籍ノ謄本若シクハ抄本ノ記載事項ニ其ノ後變更ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戸籍ニ記載シタル事項ニ付證明ヲ受ケテ、謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルノ途ヲ拓キマシテ、以テ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒十分ニ御審議ノ上、本案ニ御協賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマスケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

○讀長(伯爵松平義重) 别ニ御質疑モナケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

兵役法中改正法律案外二件特別委員  
侯爵松平義重(音吉) 宣政君 子爵立見豊丸君  
男爵(音吉)良進君 男爵(音吉)泰一君  
大福(音吉)八郎君 澤田(音吉)河君  
鶴吉君 緒城(音吉)安次君  
〔下村宏君演壇ニ登ル〕

○下村宏君 私ハ質問ニ先ダチマシテ、一言所懷ヲ述ベク存ジマス、此ノ重大ナルヲ御許シ致シマス、下村宏君

レガ國民ノ氣持ニ映リ、又同時ニ政府カラモ極メテ通俗ニ、平易ニハ御答辯アラムコトヲ期待スル者デアリマス、尙私ノ今日述ニナツテ居リマス、恐ラクハ今日程、國民ガトシ、又既ニ有スル戸籍ノ謄本若シクハ抄本ノ記載事項ニ其ノ後變更ナキコトノ證明ヲ受ケ、又ハ戸籍ニ記載シタル事項ニ付證明ヲ受ケテ、謄本又ハ抄本ノ交付ヲ受クルニ代フルノ途ヲ拓キマシテ、以テ事務ノ簡捷ト關係人ノ便益ヲ圖ラムトスルモノデアリマス、何卒十分ニ御審議ノ上、本案ニ御協賛アラムコトヲ切望致ス次第デアリマスケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

○讀長(伯爵松平義重) 别ニ御質疑モナケレバ、三案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

兵役法中改正法律案外二件特別委員  
侯爵松平義重(音吉) 宣政君 子爵立見豊丸君  
男爵(音吉)良進君 男爵(音吉)泰一君  
大福(音吉)八郎君 澤田(音吉)河君  
鶴吉君 緒城(音吉)安次君  
〔下村宏君演壇ニ登ル〕

○下村宏君 私ハ質問ニ先ダチマシテ、一言所懷ヲ述ベク存ジマス、此ノ重大ナルヲ御許シ致シマス、下村宏君

同明條約ニ依ッテ、我ガ國ハ又歐洲ノ大戰ニ繫ガリマシテ、日本ガ大東亞新秩序建設ノ指導者タルコトガ、此ノ條約ニ依ッテハレタノデアリマス、同時ニ之ヲ契機トシテ、英米ノ援蔣行爲ハ増大シ、我レニ對スル敵性ハ露骨トナリ、事態極メテ急ナルモノガアリマス、此ノ際外ニ對シテ處スペキ對策ハ、實ニ複雜多岐ニ亘シテ居リマスルガ、是ハ當局デモ話サレタ如ク、此ノ支那事變ノ解決ト云フコトニ重點ヲ置クベキモノト思シテ居リマス、私ハ、將來ドウ云フ形デ此ノ支那事變ガ終局ヲ告ゲルカ、平和ノ克復ヲ見ルカ、是ハ分リマセヌガ、根柢ニ於テ執ルベキ方針ハ、我ガ國ノ民族ト民國ニクタビレテ平和ニナルト云フコトハ何時カアリ得ルノデアリマス、併シ其ノ後デ、クト云フコトデアリマス、南京政權或ハ重慶政權、其ノ衝ニ當ル者ト我ガ政府ト、互ニ交戦ガウマク行カナイ、又先デ戰サヲスルノダト云フヤウナ、所謂此ノ兄弟牆ニ鬪グヤウナコトガアリテハ、今回ノ事變、幾多尊イ犠牲ヲ拂ツタ是ガ、總テガ唯無意味ニナルト云フダケデハ濟マナイノデアリマス、此ノ心構ヘハ、國民擧ゲテ心カラ建直シテ行カナケレバ、東亞ノ將來ト云フモノハ必ずシモ樂觀出來ナイノデアリマス、南京ニ於ケル新政權が出來マシタ、何トシテモ之ヲ守立テ、立派ナモノニ仕上ゲルト云フコトガ何ヨリデアリマス、之ニ對シテヘ幾多ノ方

策モアリマセウガ、要スルニ南京政權ハ、東亞ノ將來ヲ達觀シ、世界ニ於ケル地理的ノ分布、或ハ人種ノ差別、色々ノ觀點カラ、將來不祥事ヲ繰返スデハナイ、今ニシテ互ニ手ヲ握ラナケレバナラヌト云フ觀點デ立ツテ居ルノデアリマス、此ノ政府ヲ支持シテ守立テ、行クコトガ、自ラ又重慶政府ノ崩壊ヲ導ク所以ト思ヒマス、支那ノ民衆ヲシテ安居樂業、其ノ職ニ安ンジ、其ノ業ヲ營ミ、其ノ治下ニ悅服セシメルト云フコトガ何ヨリト思ヒマス、此ノ觀點カラ、在來トテモ近衛聲明其ノ他ニ於テ屢、此ノ趣旨ハ述ベラレテ居マスルガ、此ノ心持ヲ、内地人ガ、其ノ氣持ニナツテ居ラナケレバ、地ニ於テハ一般ノ國民ニ十分徹底サス、現地ニ居ル軍隊ト云ハズ、其ノ他ノ總テノ内地人ガ、其ノ氣持ニナツテ居ラナケレバ、唯一ニ立ツタ少數ノ人ガ如何ニヤキモキシテモ、其ノ效ハ舉ラナイノデアリマス、此ノ基本條約ノ締結ト共ニ、サウシタ觀點デ政府ハ積極ニ如何ニ之ヲ支持シテ行クノカ、又尙日本ノ手ニ依ツテ處理サレルト申シマスルカ、マダ民國ノ手ニ移ラナイモノモ亦アリマセウガ、サウ云フ事態ハ、次第ニ民國ノ人ニ引移ス、詰リ積極ニ消極ニ、民國ノ民衆ヲシテ其ノ業ニ樂マシメル、此ノ新しい政權ニ悅服セシメルト云フコトニ付テ、ドウ云フ處置ヲ執ツテ、居ラレルカ、其ノ方針ナリ、又方策ニ付テ承知ラ致シタイノデアリマス、次ニ内政ノ問題デアリマスガ、私ハ日露戰役ノ當時ニ較ベテ、ドウモモ一ツ時局ニ對スル認識ガ國民一般ニ徹底シテ

居ラヌヤウニ思フノデアリマス、日露ノ戰役ハ、日本ヨリモ當時强大デアツタ露國ト云方カラ立場デアル爲ニ、國民皆緊張セザルヲ得ナカッタノデアリマス、今回ハ戰ヒ其ノモノハ常ニ我ガ國ガ優勢ヲ占メテ居ルガ日本ヲ援ケタガ如ク、今度ハ又重慶政權ヲ援ケテ居ル、從ツテ一般國民ガ此ノ時局ニ對スル認識ガ十分デナインデアリマス、我々地方ヲ廻リマスト、新體制ト云フモノハ支那事變ニ依ツテ出來タモノダ、支那事變ガ濟メバ又止メニナルンダト云フガ如キ解釋ヲ取ル者モアリマス、或ハ又歐洲大戰が始マルト、此ノ前ノ大戰ノヤウニハ行クマイガ、或程度ノ成金時代ト云フモノガ來ルノデハナイカト夢ミル者スラアルノデアリマス、言フ迄モナク、是カラ我ガ國ハ高度ノ國防國家ヲ完成シナケレバナラナイ、支那事變ハ終局ヲ告ゲ、平和ノ克服ヲ見マシテモ、滿洲ト云ハズ民國ト云ハズ、所在尙治安ヲ維持スル爲ニ相當ノ軍隊モ駐屯スルデアリマセウ、更ニ是方ニ文化ノ工作、產業ノ開發、有ラユル方面ニ限リナク我ガ國ヨリ人ト物ヲ需メルノデアリマス、況ンヤ大東亞新秩序ノ建設ニ足踏ヲシテハナラヌ、從ツテ支那事變が解決シ、又其ノ他ノ國ト不祥事が起ラズニ濟ンデモ、謂ハゞ半永久的ニ、我ガ國ハ

此ノ限リアル人、限リアル物ヲ、ヨリ必要  
ナ方面ニ振尙ケテ行ク、更ニ其ノ人ノ能率  
ヲ極度ニ高メル、其ノ物ノ利用率ヲ極度ニ  
上ゲル、是ガ所謂新體制ノ標的デアラウト  
思フノデアリマス、サウシタ觀點カラ、先バ  
人ノ方カラ見マスルト、茲ニニツノ大キナ  
國策ガアリマス、是ハ主トシテ厚生省ニ關  
聯シマスルガ、拓務、外務、陸海軍各方面  
ニ、元々人ノ問題デアリマスルカラ、何處  
ノ省ニモ關聯ヲ致スノデアリマス、岩倉公  
爵ガ矢張リ質疑サレルヤウニ承知シテ居リ  
マシタガ、御取止メニナリマシタカラ、叶  
ノ極メテ重大ナ問題ニ付テ其ノ大要ダケヲ  
述べタイト思ヒマス、日本ノ民族ノ將來ヲ  
通ジテ最モ大ナル缺陷ハ、日本人ノ平均壽  
命ガ、歐米ノソレニ比シテ十年モ十五年モ  
短イト云フコトデアリマス、二十歳頃迄ハ、  
所謂準備時代ハ同ジヤウニ掛ッテ、ソレカ  
ラ愈、積極ニ社會デ働くト云フ時ニ、十年  
モ十五年モ開キガアルト云フコトハ由々シ  
イコトデアリマス、而モ其ノ平均壽命ガ年  
年延ビテ行クカト云ヘバ、必ズシモサウデ  
ナイノデアリマス、是ハ申ス迄モナク乳幼  
兒ノ死亡率ガ歐米ノソレニ比シテ殆ド倍々  
高イ、結核ガ益々蔓延シテ青少年ノ死亡率ガ  
非常ニ高イ、サウシタコトガ日本人ノ平均  
壽命ノ短イ原因ニナシテ居リマス、故ニ近頃  
ハ陸軍ノ徵兵検査デモ、甲種、乙種ノ率ハ  
アリマス、サウシタ理由ガ、第一次ノ近衛  
内閣ノ時ニ厚生省ヲ新設スル大キナ理由デ

アツタト存ズルノデアリマス、偶ニ支那事變ガ起ツテ立消エトナリマシタガ、併シ此ノ支那事變ガ起ツタガ故ニ一層其ノ切實ノ度ヲ加へ病死シ、或ハ傷ツキ、病ミ、又國內デハ殷賑産業其ノ他ニ依ツテ、過度ノ勞務ニ依ツテ體位ヲ落シ、更ニ夥シイ若イ人達ガ現地ニ出征シテ居ル爲ニ、内地ニ於ケル出生ノ數ガ激減スル、斯クノ如キコトハ何モ我國ニ特有ナコトデナクテ、戰ヒノ時ニハ必ズ起ル問題デアリマス、唯歐洲大戰ノ當時ニ比較シテ、非常ナ疫病方流行シテ死ヌ、或ハ食糧ノ封鎖ニ依ツテ餓死ノスル、サウ云フ事態ガマダナイノガ非常ナ仕合セデアリマス、ルカト云フコトトデアリマス、申ス迄モナク、第一次ノ歐洲大戰デ「ドイツ」ハ戰ヒニ敗レマシタ、戰ヒハ勝ツタノダガ、所謂經濟封鎖ノ爲、二百萬ノ壯丁ヲ失ヒ、八十萬ノ餓死者ヲ出シ、遂ニ四年半ノ後ニ降伏シタノデアリマス、併シ其ノ負ケタ「ドイツ」ガ何故ニ勝ツタ英佛ニ今日非常ナ優勢ヲ示シテ居ルカト云ヘバ、今ノ缺陷ハ大キカツタガ、此ノ恢復ニ對シテ非常ナ努力ヲ拂ツタカラデアリマス其ノ拂ツタ證據ハ、私度々申シマスルガ、四年前ノ「ベルリン」ノ「オリムピック」大會ニ、五十二ア参加國ノ中デ「ドイツ」ガ第一位ヲ占メタト云フコトガ、既ニ「ドイツ」ガ人ト云フ問題ニ於テ英佛ヨリモ恢復ヲ早メテ居ル、「ドイツ」民族ノ精神力、肉體ノ

力ト云フモノノ恢復ガ早カッタト云フコト  
ヲ證據立テ居ルノデアリマス、昨今聞ク  
所ニ依リマシテモ、今「ドイツ」デハ「イタ  
リ」其ノ他ト手ヲ戮セテ、歐洲ニ於ケル  
「スポーツ」ノ聯盟、其ノ行事、更ニ「ドイ  
ツ」ニ於ケル各「スポーツ」ノ全國選手大會ノ  
決行、更ニ「フランス」ノ新政府ニ對シテ體  
育獎勵、「スポーツ」獎勵ノ爲ニ、現ニ捕虜  
ニナツテ居ル者カラ、ソレ等ノ選手ヲ特ニ皆  
釋放シテ歸シテ居ルト云ワヤウナ事實ガ傳  
ヘラレテ居リマス、此ノ缺陷ヲ成ルベク輕  
メ、又是カラ此ノ恢復ニ努メル、是ハ過般  
厚生省カラ人口政策ノ對策トシテ既ニ出テ  
居リマス、明治……デナイ、昭和三十五年  
迄ニ人口一億ト云フ標準デ、此ノ案ガ立ツテ  
居ルノデアリマス、其ノ中ニ、私ガ質問ヲ  
致シタインハ、此ノ外地ノ人口ハ別ニ之ヲ  
定ムトナツテ居リマス、ソレカラ最後ニ、統  
計調査研究ノ機構ノ整備充實、ソレカラ人  
口政策ノ企畫促進及實施ノ整備充實ト云フ  
項ガアリマスルガ、是等内容ニ付テデアリ  
マス、唯此ノ内地ニ於ケル前カラノ大和民  
族其ノモノニ付テノ幾多ノ對策ハ總テノ中  
心ニナリマスルガ、齊シク日本ノ國民デア  
ル臺灣、朝鮮等ノ現地ノ人口問題、此ノ政  
策ガ亦極メテ肝要デアリマス、更ニ此ノ内地  
ノ民族ガ臺灣ナリ朝鮮ヘ行ツタ時ニ、其ノ精  
神力ナリ體力ガドウ變ツテ行クノカ、殊ニ日  
滿一如トナツタ今日、満洲ニハ勸カラヌ移民  
モ參リマス、開拓民ガ參リマス、又有ラユル方

多數ノ軍隊モ駐屯シテ居ルノデアリマス、  
是等ノ内地民族ノ體位ガドウナッテ行クノ  
カ、又其ノ土地ノ風土氣候等ニ、如何ニ順應  
シテ行ッテ之ニ耐ヘ得ルノカト云フコトガ、  
非常ナ大キナ問題デアリマシテ、若シ是ガ  
見込ガナイト云フナレバ、此ノ北ノ方面ニ  
對スル我國策ハ總テ御破算ニナルノデア  
リマス、今後中華民國ニ於テ、或ハ今度暑  
イ南洋方面ニ於テ、一體我國族ガ之ニ耐ヘ  
得ルノカドウナルノカ、是等ニ對スル調査  
ハ、不斷カラ年ヲ逐ウテ其ノ遷リ變リヲ見テ  
行カナケレバナラナイノデアリマス、更ニ臺灣、  
朝鮮ハ、帝國ノ領土トナッテカラヒニ對  
スル施設ハ、歐洲各國ガ異民族ニ對スル植  
民政策トハ違ツテ居ル、彼等ハ其ノ植民地ヲ  
亡ボス、ト云フハ語弊ガアルカハ知レマセ  
ヌガ、植民學者ノ諺ニモ、白色人種ガ異民  
族ニ對スルト其ノ土地ノ異民族ガ皆枯レテ  
行ク、又サウシタ事例ヲ到ル處デ見ルノデ  
アリマスガ、臺灣、朝鮮デハ、產業ノ開發  
ト云ヒ、衛生其ノ他ノ向上ニ因ツテ、如何ニ  
是等ノ土地ノ人口ガ激増シツ、アルカ、恐  
ラクハ滿洲モ、今後如何ニ此ノ滿洲ノ民族  
ガ激増シテ行クカ、又是カラ後中華民國ノ  
民族モ如何ニ増シテ行クカ、此ノ滿洲或ハ  
中華民國或ハ蒙疆方面、殊ニ「ソ」聯、是等各  
國ノ人口問題ニ付テモ亦極メテ周密ナ研究  
ヲ要スルノデアリマス、今日迄我々ハ「スラ  
ヴ」民族ガ最モ増加率ガ強イト云フコトニ  
聞イテ居リマス、勿論最近ノ國勢調査ノ結  
果ハ、「ソ」聯デハ之ガ發表ヲ止メマシタ、

或ハ豫定ダケノ増加ヲ見ナカツタノカモ知  
レマセヌガ、兎ニ角是等各國ノ民族ノ消長  
ヲ見ルト云フコトガ極メテ必要デアリマ  
ス、是ハ「スラヴ」民族トカ、或ハ東亞ノ  
民族ニ限ラズ、英米其ノ他歐洲各國ノ  
民族問題ニ付テモ、十分考究ヲ要スル  
ノデアリマス、是ハ學者ノ調デアリマスカ  
ラ、又長イ間ニドウ變ルカ知レマセヌガ、  
今迄ノ經過ヲ以テ專門ノ學者ハ百年經ツト  
「イギリス」ノ人口ハ半分ニナル、「フラン  
ス」ノ人口ハ三分ノ一ニナルト言ツテ居ルノ  
デアリマス、少シ長ク放ツテ置ケバ、長ク經  
テバ、是等ノ國ノ民族ハ非常ニ激減シテシ  
マフノデアリマス、從ツテ今回ノ戰ヒデ「イ  
ギリス」ハ非常ナ打擊ヲ受ケタガ、是ガ契  
機トナツテ立直ルト云フコトニナレバ、謂ハ  
バ「ヒトラー」總統ニ依ツテ活ヲ入レテ貫ツ  
タ、此ノ戰ヒハ長イ目デ見レバ、非常ナ劇  
藥ダガ藥デアツタ云フコトモアリ得ルノデ  
アリマス、デ各國ノ民族ノ問題ヲ考究スルト  
云フコトハ、私ハ此ノ歐洲ノ事變ガ濟ミマ  
スト、再ビ國際人口會議ト國際移民會議ガ起  
ルト思ヒマス、御承知ノ國際聯盟ニ於テ開力  
レテ居ツタ國際人口會議モ、ソレカラ「ロー  
マ」カラ「ハヴァアナ」ト續イテ開カレタ國際移  
民會議モ、何時モ持テル國ハ自分達ニ不利  
益ニナリマスカラ、皆中絶ニナツテ居リマ  
ス、今度「イギリス」ガ敗レル、獨伊側ガ勝ツ  
ト云フコトニナレバ、將來ノ世界ノ平和ヲ  
保持スル爲ニ、國際ノ人口會議又移民會議  
ハ必ズヤ開カレルモノト思ヒマス、之ニ對

シテモ、今日カラ世界中ノ總テノ民族ニ付テ其ノ消長ヲ調べテ置イテ、之ニ對處スル又平素ニアッテモ、在外公館ト言ハズ有ラニル方面デ、貿易トカ何トカ云フモノノ方ノ調査モ必要デアルガ、是ハ各方面ガ協力シテ、此ノ人ト云フモノニモ著眼ヲ重クシナケレバナラス、是等ノ點ニ付テ、無論當局ハ考ヘテ居ラレルト思ヒマスルガ、今カラ此ノ諸點ニ付テ十分ノ考慮ヲ要シタイ、今日ニ於テモ日本ノ國ノ約十二倍ノ北米合衆國ハ一「キロ」平方ニ十六七人、日本ノ内地ハ百八十七人、日本帝國全體デモ百五十一人デアリマス、我ガ國ノ十分ノ一ノ密度シカナイ北米合衆國ガ、今カラ二十年以前ニ移民ノ制限ヲシ、而モ有色人種ニハ絶對ニ其ノ移民ヲ禁止シテ居ルノデアリマス、世界ノ陸上ノ四分ノ一ヲ占メテ居ル大英帝國ノ自治領ノ「カナダ」、是ハ日本帝國ノ十四倍デアリマス、濱洲、是ハ十一倍デアリマス、其ノ何レモ十倍以上ノ面積ヲ持テ居リナガラ、其ノ土地ニハ、所謂白人濱洲、白人「カナダ」トシテ、異人種ヲ入レナインデアリマス、「キロ」平方ニ我ハ百八十五人、彼ハ只ノ一人デアリマス、從ツテ此ノ戰亂デ假ニ、假ニデス、「イギリス」側ガ勝ツタトシテモ、將來ノ平和ヲ樹ツル爲ニハ、必ズヤ國際ノ人口及移民會議ト云フモノガ起ルト思ヒマス、從ツテ是等ノ方面ニ對シテ、今カラ十分ノ關心ト考慮ヲ持ツテ戴キタインデアリマス、ソレカラ次ニ、是ト相伴ウテ文部省ノ主トシタ問題ニナリマスルガ、人間ノ頭ノ

食糧デアル智慧ヲ得ル爲ニ、我々ハ言葉ト文字ガ必要デアリマスルガ、此ノ日々ノ我我ノ最モ使ヒ慣レテ居ル國語ト、ソレヲ表ス國字ニ付テ、今日程之ガ對策ヲ樹テ断迄モ鐵道デ驛名ヲドウ云フオウニ書クトカ、或ハ司法省デ判決文ガ口語體ニナルトカナラヌトカ、殊ニ昨今陸軍デハ用語ノ改正ヲスルトカ、各省ソレゞゝ問題ハアリマス、併シ是ガ相關聯シテ系統立テテ思ヒ切ッタ茲ニ對策ヲ講ジ之ヲ決行シナケレバ所謂百年ノ悔ヲ貽スト思フノデアリマス、言葉ガ亂雜デアル爲ニ、小學校ナリ、中學校ナリ、學校デドレダケ無駄ナ時ヲ使ツテ居ルノカ、又社會ニ出テ如何、我々ガ迷惑ヲシ、誤ヲ喚ビ起シテ居ルカ、サウ云フコトハモウ私ハ一切此處デ申ズノヲ避ケマスガ、此處デ私ノ申シタイコトハ、前申シタ日本ノ將來ハ、大東亞ニ於テ相近キ者、相隣レル者、相似ノタル者ガ手ヲ握ツテ行カナケレバイケナイ、ソレカラ同ジ教場ニ於ケル學生モ、日本ノ學生ト民國ノ學生ハ水ト油ノ如クデ何等ノ接觸ヲ持タナイ、サウシテ皆故國ニ歸ツタ留学生ハ、日本ニ對シテ必ズシモ好感ヲ持タナカツタノデアル、是ニハ矢張リ支那ノ言葉ト云フモノニ習熟シナイト云フコトガ一つノ原因デアッタト思ヒマス、今日ハ同種同文ダト云フコトヲ能ク言ヒマスガ、私共支那ヘ旅ヲシテ親シイ友達カラ、此ノ同種同文ト言ハレル程、マア不愉快ナトモ言ヒマセヌガ、有難迷惑ダ、返上スルト云フコトヲ能ク聞カサレルノデアリマス、殊ニ急ナルガ爲ニ、外國語ト云ヘバ英語ラナイノデアリマス、今迄歐米ノ文化ヲ吸收スルニ急ナルガ爲ニ、過般蔣介石が始メタヤウニ、ソンナニ因ツテ居ルカト云フコトガ分ラヌト思ヒマスカラ茲ニ添ヘマスルガ、支那デ

人ト接觸スル機會モナシ、又其ノ教ヘ方ニモ不備ガアラウシ、又之ヲ練習スル機會モ少イカラデモアリマセウガ、私ナドノヤウニ長イ間英語ヲ學ンデ、而モ私程話セナイ、書ケナイ、聽ケナイ者ハナインデアリマス、而モ一方デ實用ニ供サレ得ル支那語ニ付テハ一般ニ關心ヲ持タナカツタ爲ニ、私共ノ子供ノ時分ニハ、當時ノ清國チヤンコロト云フヤウナ氣持ガ國民全體ヲ支配シテ居ツタ、私共明治三十一年カラ約二十年近ク教壇ニ立ツテ居リマシタガ、民國ノ留學生ヲ私共何千人手ニ掛ケタカ知レスケレドモ、オ恥カシイガサウ云フ人達ト今日文通ヲシテ居ルト云フノハ僅カニ三四人デアリマス、ソレカラ同ジ教場ニ於ケル學生モ、日本ノ學生ト民國ノ學生ハ水ト油ノ如クデ何等ノ接觸ヲ持タナイ、サウシテ皆故國ニ歸ツタ学生ハ、日本ニ對シテ必ズシモ好感ヲ持タナカツタノデアル、是ニハ矢張リ支那ノ言葉ト云フモノニ習熟シナイト云フコトガ一つノ原因デアッタト思ヒマス、今日ハ同種同文ダト云フコトヲ能ク言ヒマスガ、私共支那ヘ旅ヲシテ親シイ友達カラ、此ノ同種同文ト言ハレル程、マア不愉快ナトモ言ヒマセヌガ、有難迷惑ダ、返上スルト云フコトヲ能ク聞カサレルノデアリマス、殊ニ急ナルガ爲ニ、外國語ト云ヘバ英語ラナイノデアリマス、今迄歐米ノ文化ヲ吸收ス、從ツテ是等ノ方面ニ對シテ、今カラ十分ノ關心ト考慮ヲ持ツテ戴キタインデアリマス、ソレカラ次ニ、是ト相伴ウテ文部省ノ支那語ト云フモノハ非常ニ閑却サレテ居ツタノドレダケ實用ニ供スルカト云フト、サウ外

モ支那デハ大體一色ニ讀ミマス、蔣介石、是ハ「チヤン・カイシ」ト今言ツテ居リマスガ、「チヤン・カイシ」ノ「カイ」ハ廣東讀ミモ支那デハ支那讀ミマス、蔣介石、是ハ「チヤン・カイシ」ト「カイ」ノ本讀ミヲスルト云フ點デアリマス、ソレカラ同ジ教場ニ於ケル學生モ、日本ノ學生ハ、日本ニ對シテ必ズシモ好感ヲ持タナカツタノデアル、是ニハ矢張リ支那ノ言葉ト云フモノニ習熟シナイト云フコトガ一つノ原因デアッタト思ヒマス、今日ハ同種同文ダト云フコトヲ能ク言ヒマスガ、私共支那ヘ旅ヲシテ親シイ友達カラ、此ノ同種同文ト言ハレル程、マア不愉快ナトモ言ヒマセヌガ、有難迷惑ダ、返上スルト云フコトヲ能ク聞カサレルノデアリマス、殊ニ急ナルガ爲ニ、外國語ト云ヘバ英語ラナイノデアリマス、今迄歐米ノ文化ヲ吸收スルニ急ナルガ爲ニ、過般蔣介石が始メタヤウニ、ソンナニ因ツテ居ルカト云フコトガ分ラヌト思ヒマスカラ茲ニ添ヘマスルガ、支那デ

榮、日本ノ將來、大東亞ノ將來ヲ支配スル上ニ非常ナ大キナ影響ヲ持ツテ居ルノミナラズ、無論日本自體ガ、此ノ改善ニ依ツテ如何ニ時ト勞力ト金トヲ節約シ得ルカ分ラナインデアリマス、此處デ私ガ文字トカ、國語ノ講釋ヲスルコトハ憚リアリマスルカラ避ケマスルガ、唯其ノ害ガアル、何故アルノカト言ヘバ、同ジ漢字ヲ支那デハ支那讀ミヲシ、日本デハ日本讀ミヲスルト云フ點デアリマス、ソレモ支那デハ大體一色ニ讀ミマス、蔣介石、是ハ「チヤン・カイシ」ト今言ツテ居リマスガ、「チヤン・カイシ」ノ「カイ」ハ廣東讀ミモ支那デハ支那讀ミマス、蔣介石、是ハ「チヤン・カイシ」ト「カイ」ノ本讀ミヲスルト云フ點デアリマス、ソレカラ同ジ教場ニ於ケル學生モ、日本ノ學生ハ、日本ニ對シテ必ズシモ好感ヲ持タナカツタノデアル、是ニハ矢張リ支那ノ言葉ト云フモノニ習熟シナイト云フコトガ一つノ原因デアッタト思ヒマス、今日ハ同種同文ダト云フコトヲ能ク言ヒマスガ、私共支那ヘ旅ヲシテ親シイ友達カラ、此ノ同種同文ト言ハレル程、マア不愉快ナトモ言ヒマセヌガ、有難迷惑ダ、返上スルト云フコトヲ能ク聞カサレルノデアリマス、殊ニ急ナルガ爲ニ、外國語ト云ヘバ英語ラナイノデアリマス、今迄歐米ノ文化ヲ吸收スルニ急ナルガ爲ニ、過般蔣介石が始メタヤウニ、ソンナニ因ツテ居ルカト云フコトガ分ラヌト思ヒマスカラ茲ニ添ヘマスルガ、支那デ

モ外ニ讀ミヤウハ達ハナノデアリマス、處ガ漢字ダケデアルト、支那デハ「チヤン」。カイシート言ッテ居ッテモ、日本人ダケデハ「オウセイエイ」ト言ッテ居ル、ソレデハモウ話ハ通ジナイノデアリマス、處ガ同ジ文字デアルカラトテ、今度ハ日本ノ我々ノ書イタ文字デモ、支那ノ人ハ我々ノ讀ムヤウニハ讀ンデ吳レナインデアリマス、近衛内閣、此ノ字ヲ見レバ彼等ハ「コノエナイカク」トハ讀メナインデアリマス、「チンウエー。ネー」コート云フ、前ノ米内内閣、是ハ私共デモ初メハ「ヨナイ」トハナカ〜讀メナイ、アリマス、其ノ「ミーネー・ネー」ト言支那人ハソレヲ見レバ「ミーネー・ネー」ト言フノデアリマス、猫ヲ見ヨト云フノデト言フノデヤナイ「ヨナイ」ト言フノダ、「チンウエー」ト言フノデヤナイ「コノエ」ト言フノダト云フコトヲ、ヤツトノコトデ覺エテ見テモ、今度ハ外ノ場合ニ、其ノ近衛ノ「近」ト云フ字ガ出タ時ニ、ソレハ「チカイ」ト讀ムノダ、ソレハ遠近ノ「キン」ダ、右近、左近ノ「コン」ダ、イヤ近江ノ國ノ「オー」ダ（笑聲）、斯ウナルトモウヤリ切レナイノデアリマス、米内内閣デモ彼等ハ「ミーネー」。

本ノ「ヨイカ」ノ「ヨ」ト云フ字ダ、米ト云フ字ハ「ヨ」ト覺エテ居ルト、サウデヤナイ「ヨ

ネードト言フ、イヤ「コメ」ダト言フ、イヤ白米ノ「マイ」ダ、イヤ米國ノ「ペイ」ダ、ソレデハ殆ド彼等ハアグネテ手ガ付カナインデアリマス、或ハ米内ノ「ナイ」ト云フモノガ、ソレ「ナイ」ト云フ字ガ深野内匠頭ノ「タク」ニナル、イヤサウザイナイ、アレハ大石内藏之助ノ「ク」ダ、ト云フノデアリマス、（笑聲）日本人同志デハ、長イ間ニ色々讀ミ分ケテ、マア喜ンデ居ルカ居ラヌカ分リマセヌガ、ソレデ濟ミマスガ、ソンナコトデ、日本ノ言葉、日本ノ文字ヲ東洋ノ民族ニ皆推シ擴メヨウ、殊ニ我々ヨリモ文化ノ低イ南洋ヤ各方面ノ人達ニ、日本ノ事ヲ一體ドウシテ推シ擴メルコトガ出來ルノデアリマセウカ、私共ハモウ自供ノ時カラ……私ハ和歌山ノ產レデ、省ク此ノ和ノ字ガ大和ノ、「ト」ニナリ、和泉ノ「イ」ニナルト云フコトヲ知ツタノデアリマスガ、此ノ一つノ文字ヲ種々雜多ニ讀ム、生レルト云フ字、平生……「ヘイゼイ」ノ「ゼイ」ト云フ字、平生……「ラオ」ノ「オ」デスガ、アノ「生」レハ百六十五通リ讀ムサウデアリマス、從ツテ今瀬洲ナリ支那デハドウシテ居ルカト云フト、其ノ漢字デ書クトオ互ニ誤解ヲシ、間違フカラ、皆假名ヲ使フノガ多イノデアリマス、昨年ノ春、私海南島ヲ廻ツタ時デモ、軍隊ノ看板ハ、山口部隊ト言ヘバ、其ノ山口部隊本部ト云フノハ皆假名デ書イテアル、日本人

ノ作ツタ假名デサヘ書イテ居レバ、**「ヤマグチブタイ」**ト書ケバ誰ガ讀ンデモ「ヤマグチハ付イテ居ル、新聞ハ新聞デ一々詮假名ヲブタイ」デアリマス、平生カラ此ノ亂雜ナ付ケナケレバ……「ルビ」ヲ付ケナケレバヤリ切レヌ、此ノ文字ヲ整理スル、成ルベクムヅカシイ字、獻上ノ「獻」トカ、「鹽」トカ、鼈トカ、龜トカ言フモノハ、今日ナカヽ本格ナ字ヲ書ケナイノデアリマスガ、蔣介石ハ總テ略字ノ方ヲ今度ハ行フベシ、ト云フ命令ヲ出シテ居リマス、成ルベク簡単ニスル、成ルベク紛ラハシクナクスル、斯クノ如クニシテ假名ヲ主トシ、成ルベク漢字ハ通俗ニシ、制限シ、更ニ其ノ又文字ノ音ナリ訓ナリノ讀ミ方ヲ出來ルダケ少クシテ行ク、此處デモ有聲者ノ諸君ノ御名前等ガ、等モ讀ミ方ヲムヅカシイ方ニ讀マサヌデ、ヤサシイ方ノ、誰デモ使フ讀ミ方ニスルト云フヤウニ整理スルコトガ、我々モ必要デアルガ、サウジナケレバトテモ満洲、民國、其ノ他ノ人々ニ、日本ノ言葉、文字ヲ擴メルコトハ出來ナイノデアリマス、歷代ノ内閣デ法令ナリ其ノ他ニ付テ文字ヲ一ツ整理スル、ドレダケ是デ學校ダケデモ助カルカ知レス、世ノ中ノ仕事ニドレダケ便宜ヲ得ルカ知レスト云フコトヲ言シテ居リマシタガ、文部省ノ國語ノ審議會ハ、私ニ言ハシムレバドウモ活動ガ鈍イ、餘リ玄人ガ寄リ過ギテ居ルト思ヒマス、今却テ陸軍デ用語ノ改

正ヲシマシタガ、更ニ進ンデ假名遣ヒナリ  
或ハ漢字ノ制限ニ迄研究ヲ續ケテ居リマシ  
テ、實ハ本日此ノ時間ニ私モ陸軍ノ當局カ  
受ケテ居ツタノデアリマス、此ノ問題ハ、誠  
ニ斯ウ云フ時期切迫シタ時代ニ、非常ニ閑  
日月ナコトヲ言フガ如クニ見エマスガ、悠  
久タル日本ノ將來ヲ考ヘ、更ニ大東亞ノ指  
道者トナルノダ、殊ニ今ハ同文ト言フ、殊  
ニ民國ト聯繫ガ深クナッテ來ルト云フ時  
ニ、私ハ、政府ハ徹底的ニ各省ヲ動員シテ或政  
策ヲ樹テテ、此ノ簡易化ノ運動ニ是非著  
手シテ戴キタイノデアリマス、更ニ序ニ  
アリマスルガ、昨今ハ外國語ト云フモノノ  
ヲヤルトイケナイヤウニ言フ人ガ一部ニ  
アリマス、デ條約ノ明文モ、日本ハ日本  
デ日本側ノ文字デ書ク、外務省ノ情報部  
モ遠慮ナシニ日本語デ言フコトハ結構デ  
アリマス、ケレドモソレト、外國ノ言葉  
ヲ知ラナクテモ宜イト云フ、或ハ知ツチヤ  
イカヌト云フガ如キコトハ無論脱線デアリ  
マス、況ヤ相手ノ國ガ憎イカラヤッチヤイカ  
ヌトカ、或ハ味方ダカラヤルノダ、或ハ強  
イ國ダカラ習フ、弱イ國ナラバ習ハナイ、  
サウデヤナイ、必要ガアルカナイカト云フ  
問題デアリマシテ、爲ニ彼ヲ知ルコトガ薄  
クナルト、是程ノ害ハナイト思ヒマス、「ア  
メリカ」デハ、「ニユーヨーク」ノ「ベルリッ  
ツ・スクール」デハ、近頃「ドイツ」語ヲ學ブ  
者ハ無クナッタト云フコトデアリマス、成  
程「アメリカ」人ハ感情ニ強イナト云フ感

デハ「イギリス」ト戰ッテ居ルガ、今國民ト  
言ハズ、軍人ト言ハズ、英語ヲヤレ、英語  
ヲヤレト言ッテ居ル、是ハ敵國ニ攻メ入ッテ  
モ、植民地ヲ貴ッテモ、英語ヲ知ラナケレ  
バナラスト云フノデ、今「ドイツ」デハ非常  
ニ英語ノ獎勵ヲシテ居ルト聞イテ居リマス、  
デ私ハ日本ハ今迄、支那語トソレカラ「ゾ」  
聯ノ言葉ニ餘リ關心ヲ拂ハナカッタコトガ  
非常ナ缺陷デアツタ、今日デモ「ゾ」聯ト云フ  
モノニ對シテ、大キナ「エッキス」トシテ、  
ドウモ是ガ分リニクイト云フコトハ、「ロシ  
ア」語ト云フモノニ對スル國民ノ關心ガ、「フ  
ランス」語ヤ「ドイツ」語其ノ他ニ比シテ著  
シク劣ッテ居ッタト云フコトニ、大キナ原因  
ガアラウト思フノデアリマス、更ニ此ノ科  
學ノ振興ト云フコトデアリマスルガ、今  
自然科學モ人文科學モ、ソレヽ、獨リ歩キ  
ヲスル氣味ガアル、是等ガ矢張り精神的ニ  
綜合セネバナラスト云フコトハ諄ク申スマ  
デモアリマセヌガ、恐ラクハ姉崎博士ガ病  
氣デナクテ登院サレタナラバ、是等ノ問題  
ニ付テモ大イニ論ゼラレタト思ヒマス、私  
ハ只總チノ學問ガ相互ノ間ニ綜合的ニ研究  
サレタイ、殊ニ人ノ問題ニ付テハ内閣ニ統計  
力局或ハ勞働局、色々各局デソレヽ、  
觀點デ見ル、農林省ハ食糧ノ點カラ見ル、  
文部省ハ又學生ノ體育ト云フ點カラ見ル、  
文醫者サンハオ醫者サンノ見方デ見ルト云

レヌト云フコトモ私大キナ缺陷ト思ヒマス、學術振興會デミ々櫻井鋭二博士ニ述べ、又非常ニ御同意デアリマシタガ、又此ノ振興會デモ、有ラニル方面カラノ綜合ノ研究ト云フコトガマグ遺憾ノ點ガアルノデアリマス、デ今私共ガ自然科學デ其ノ専門ノ人達カラ斷ニズ聞カサレルコトハ、無論先方デモ祕密ガ守ラレルニシテモ、次第ニ近頃海外ノ留學ガ少クナッテ、海外ニ於ケル科學ノ日進月歩シテ行ク、之ニ對シテ研究シ、之ヲ知ル機會ガ、非常ニ乏シクナッタ云フコトデアリマシテ、國內デハ是非研究室ニ幾ツテ幾多ノ研究ニ没頭シテ貴ヒタイ人ガ、此ノ時局ノ爲ニ皆其ノ方へ攬ハレテ行ク、肝腎ノ基礎的ノ研究ト云フコトガ餘程遅レテ來ルノデヤナイカ、此ノ點ヲ非常ニ苦慮シテ居リマス、私ハ後進國デアッタ日本ガ、今迄海外ノ幾多ノ文化ヲ吸收シタ、類痘ヲスル爲ニ天然痘ヨリ助カツタ云フヤウナ醫學的ノ方面モ隨分アリマスガ、更ニ有ラニル文化ハ、多クハ先進國ノ發明ノ餘澤ヲ受ケテ居ルノハ事實デアリマス、ソレダケニ核ダトカ、色々ナモノノ豫防方ニ對スル發明ガアル、モウ石炭トカ石油ト云フモノハ餘リ先ハナイト思フ、然ルニ茲ニ太陽ノ熱ガアル、地球ノ熱ガアル、電子ノ分解ト云フコトデ、幾多ノ力ガ出テ來ルカラ、是等は是カラドウ利用シテ行クカ、更ニ戰時ノ

「ドレイツ」デハ、「パリ」ノアノ「メトロボリタン」ノ地下室デ毒ガスノ試験ラシテ居タルタトカ云フコトガ傳ヘラレテ居リマス、第1次ノ歐洲戰爭ト今次ノ歐洲戰爭デハ、空戦、立體戰ニナシテ、戰練ノ上ヲ乘り越三テ「ロンドン」ナリ「ベルリン」ノ上ニ爆撃ヲ落シテ來テ居リマスガ、更ニ是ニ毒ガストカサウシタモノガ、マダ使ハレテナイノカ、無イノカ、ドノ程度カ、此ノ程度モ私ニハ分リマセヌ、併シ是カラ何年カ經テバ必ズ平和ハ克復スル、ソレデモウ世界ノ平和ハ絶對ニ將來保障サレルカト云ヘバ、私ハサウデナイト思ヒマス、其ノ規模ハ次第ニ大キクナリマス、更ニヨリ科學的ナ戰サニナシテ、或ハモウ戰サガ始マッタト云フト、一舉ニシテ直グ勝敗ガ決スルト云フヤウナコトガ、ドウモ此ノ次ニハ起ルヤウナ豫感ヲスルノデアリマス、斯ウ云フ方面ニ、今日自然科學ノ上ニモ何處迄モ研究ヲ續ケネバナラナイノデ、又ソレニハ斷ニズ彼ヲ知ラナケレバナラナイ、故ニ恩想ノ鎖國ニナラヌヤウニ、殊ニ知識ヲ吸収スル上ニ鎖國ニナラヌヤウニ、政府ノ十分ナル戒心ヲ求メタイノデアリマスガ、是等ニ對シテハドウ云フ方針ヲ執ツテ居ラレルカ承知シタイノデアリマス、是カラノ日本ハ今迄ノ日本精神ノ教育ノ外ニ、大東亜建設ト云フコトニ依ツテ、モウ一ツ高所ニ立ツテ其ノ氣宇ヲ大ニシ、餘リニ敏感過ギ

而ヲ他ノ民族ヲ皆包容シテ行クト云フ譲抑  
ノ德ニ富ンダ國ヲ造ツテ行カケレバナラ  
ナイ、是等ハ總理大臣ガ、雖ニ施政演説ノ  
申ニモ教學ニ付テ御述ニナツテ居リマスル  
ガ、私ハ氣宇ヲ大ニスル、他ノ民族モ包容  
スルト云フ氣持ヲ今後ノ教育ノ中心ニ置イ  
テ戴キタノイデアリマス、次ニ前申シタヤ  
ウチ粗點カラ見テ、陸軍大臣ノ御答辯ヲ得  
タイノデアリマスガ、何トシテモ滿洲、支  
那各地ニ夥シイ軍隊ガ居リマス、戰爭其ノ  
モノニ付テハ私共ハ全然門外漢デアリマス  
ガ、斷エズ其ノ現地ノ人々ニ接觸スル心構  
ヘデアリマスガ、軍隊ノ將校ナリ兵士ガ、  
其ノ土地々々ニ於テ戰ヒハ戰ヒデアリ、又  
一般ノ民衆ニ接スル態度ハ態度トシテ、無論  
茲ニソレハノ心構ヘガナケレバナラナ  
イノデアリマスルガ、此ノ心構ヘハ延イテ其  
ノ土地ニ居ル又内地人ニ尠カラヌ影響ヲ與  
ヘルト思ヒマス、言葉ヲ換ヘルト、一方デ  
宣撫班ナリ其ノ他ノ人々ガ非常ナ努力ヲス  
ル、隨分其ノ土地ノ人々ト所謂共存共榮、  
互ニ明ルイ氣持テ附合シテ行ク申ニ、又可  
ナリ不良ナ質ノ惡イ内地人モ尠クナインデ  
アリマス、サウンタ少數ノ異民族ニ對スル  
態度ガ、折角ノ政府ノ方針又軍隊ノ方針  
ヲ相當毀シテ行クノデアリマス、此ノ軍隊  
ニ於ケル心構ヘガ、現地ノ内地人ト言ハズ、  
又朝鮮人然リ臺灣人然リデアリマスガ、內  
地ノ人々モ無論其ノ氣持ヲ持タナケレバナ  
リマセヌガ、現地デモ矢張リ片言デモ何デ

モ現地ノ言葉ヲ習熟スルト云フコトガ、斥候ニシテモ徵發スルニシテモ戰サノ時モ必持ヲ和ヤカニ通ジル上ニ非常ニ效果的デアラウト思ヒマス、又相當言葉ヲ覺エテ居ツタコトガ縁ニナツテ、土地ノ人々トモ知リ合ヒニナリ、陰隊ノ後モ其處へ腰ヲ据エルト云フヤウナコトモ相當考ヘラレルノデアリマス、殊ニ現地ニ於ケル軍隊ガ、其ノ風土氣候ニ順應シテドウ維持サレ向上サレルカ、是モ頗ル大キナ問題デアリマス、又是ハ私此處デマダ質問ニ上ボス迄ノ用意ハアリマセヌガ、過般ノ學術振興會デモ話ガ出マシタノハ、兵役法ノ一部ニ於テ、適齡ノ年齢ヲ十九歳ナラ十九歳ニスルト云フコトハ、動員ノ時ノ兵隊ノ數ヲ多クスルト云フコトハ直ぐ直感サレマスガ、民族學會ナゾデ我我ガ討議シテ居ツタノハ、サウシタ問題ノ外ニ、人間ハ兵營ニ入ッテ其處デ訓練ヲ受ケテ體位ガ上ルノニハ、年ヲ取レバ取ル程其ノ上リ方ガ遅レテ來ル、言フ迄モナク十二三歳カラ十五六歳ガ最モ發育期デアリマスガ、年ガ先キヘ行ケバ行ク程、其ノ訓練ニ依ッテ向上サレル程度ガ遅レルト云フコトハ、是ハ當然考ヘラレルノデアリマス、ドノ邊カラ訓練スルコトガ一番效果的デアルカト云フコトガ一ツノ問題デアリマス、併シ是ハ學校ノ制度デアルトカ、其ノ他各般ニ非常ナ影響ヲ持チ、民法、商法、各方面ニ

引掛ツテ來マスカラ、私輕々シク此處デ言フコ  
トモドウカト思ヒマスガ、併シ此ノ人ノ問題ト  
云フコトヲ研究スル時ニ、此ノ日本人ノ體位ガ  
ドウ動クカト云フコトガ、矢張リ是等ノ問  
題ニモ觸レテ來ヨウト思フノデアリマス、  
更ニ前申シタ用語ノ改正、漢字ノ制限、假  
名遣ノ改善、是等ニ付テ今陸軍當局ハ熱心  
ニ其ノ歩ヲ進メテ居ラレルヤウデアリマス  
ルガ、ドウカ私ハ此ノ問題ハ各省ヲ通ジテ、  
前申シタヤウニ統一シテ改善ノ一步ヲ踏ミ  
出スヤウ希望ニ堪ヘナイノデアリマス、是  
等ノ諸點ニ付テ御答ヲ得レバ仕合セト思フ  
ノデアリマス、次ニ物ノ問題デアリマスル  
ガ、是ハ商工、農林、遞信、大藏、司法、  
各方面ニ矢張リ自ラ關係ヲ持チマスルガ、  
時間モ進ミマシタカラ極ク端折ツテ申上ゲ  
マス、私共現在日本ノ物資ハマダ彈力アリ、  
餘力ハ非常ニ多イト思ツテ居リマス、ト言フ  
ノハ私共ノ日常ノ生活ヲ顧ミテモ、自分達  
ガ子供ノ時分ノ生活ト今日ヲ比較スレバ、  
窮屈ニナツタトハ言ヒナガラモ、マダ非常  
ナソコニ關キガアリマス、又現在ノ狀態デ  
モ、戰ヒニ勝ツテ居ル「ドイツ」比ベテモ、  
御承知ノ「ドイツ」ハ戰ヒヲ始メル前カラ生  
活ノ必需品ハ切符制ヲヤリマシタ、諄イコ  
トハ申シマセヌガ、例ヘバ日本人ヨリモ脊  
ガ高イ、目方モ重イ、又非常ニ餘分ニ消費  
スル「ドイツ」人ガ、一週間ニ卵ハ一ツデア  
リマス、牛乳ハ乳呑子カ、病人カ、或ハ妊娠  
ヲシテ居ル婦人ガ使ヒ得ルノデ、一般ニハ

タ消費規正ト較ベタナラバ、是ダケノ大軍ヲ動カシテ、聖戰既ニ第五年ヲ迎ヘテ居ルニ拘ラズ、尙今日ノ程度デ我々ガ生活ヲ續ケ得ルト云フコトハ、如何ニマダ彈力ニ富ンデ居ルカト云フコトヲ立證スルモノニアリマス、併シナガラ確カニ益、生産ノ擴充ヲ必要トスル、又配給消費ノ規正ヲシナケレバナラヌ、此ノ點ニ於テハ私ハ長ク中央物價委員會ニ席モ置キ、又物價審議會ニモ居リマシタカラ、隨分此ノ點ニ付テハ私ハ當初カラ幾多ノ所見ヲ持ッテ居リマシタ、米ノ切符制ナドハズット前カラヤッテ、訓練ヲスル、之ニ依ツテ先づ民心ヲ引締メル、之ニ依ツテ低物價政策ヲ維持スル、訓練ハ防空訓練ダケヂヤナイ、サウシタ意味デ、是ハ石墨蟲相モ屢々私カラ御聽キニナックタト思ヒマスガ、私ハ前カラ此ノ米ノ切符制ヲ唱ヘテ居シタノデアリマスガ、同時ニ又經濟ノ犯罪、之ニ對シテ、今日デハ如何ニモ府縣廳デモ多數ノ人ガ、此ノ經濟ノ犯罪者ニ對スル取調トカドウトカ云フコトデ非常ナ繁忙ヲ告ゲテ居リ、恐ラクハ又其ノ中カラ起訴サレテ、司法省ノ方デモ相當忙シイコトト思ヒマスガ、私ハ是ハ局物價ガ非常ニ又騰ルコトニモナリマスニ買ツテ暴利ヲ貪ルノハ、ソレニ依ツテ結一部ヲ吐キ出セバ後ハ殘ルノダト云フヤカラ、是ハ極刑ニ處スル、處ガ今迄ハ財產刑モ、所謂罰金モ限リガアリ、儲カシタウナコトガ、餘程物價ノ統制ニ害ガアッタ

ト思フ、此ノ重罰主義ト云フコトヲヤッテ、其ノ初メニ二三ノ人が極刑ニ處セラレバ、後ハモウ總テ收マツテ行クノデハナカツニナル、或ハ議會ヲ俟ツト云フヤウナコトデ、其數回委員會デ申シタガ成立タナカツタノデアリマス、今度ノ提案ノ中ニハ出ルヤウデアリマスガ、今日ハ非常ニ選キニ失シテ居ルト思ヒマス、サウ云フ爲ニ此ノ緊急勅令ト云フ制ガ設ケラレテ居ルノダト思フノデアリマス、此ノ生産擴充ト低物價ト云フコトガ斷エズ是ハ一面ノ摩擦ガアリマス、私ハ食糧品ノ專門物價委員會ノ委員長ヲシテ居リマシタカラ、殆ド議セラレル問題ノ總テガ、其ノ生産ヲ擴充シタイ爲ニハ値段ヲ上ゲタイト云フ農林當局ノ氣持ト、低物價ノ爲ニ矢張リ下ゲナケレバナラヌト云フ商工省ノ氣持ト、斷エズ總テノ寄り合ヒニ於テ、兩者ノ立場ニ付テ、私ハ痛切ニ其ノ氣持モ分レバ、其ノ間ノ摩擦ヲドウ避けテ行クカト云フコトニ苦心ヲ積ケタガ、甚ダ私無能デ、今日ニ至ルモマダ私トシテハッキリシタ判断ハ出來マセヌガ、併シ兎ニ角今日ニナルト、私ハドウモ總テガ重點主義ニ依ルノガ宜イノデナイカ、兎ニ角今迄ノ儘デハイケナイ、茲ニ再検討スル必要アリ、是ハ細カイコトハ皆略シマスルガ、サウシタ感ジヲ持ツテ居ルノデ、地方ヲ皆廻リマスト、ドウモ事業慾が満足出來ス、働イテ儲カツタモノガ租稅ニ取ラレテモドウデモ宜イガ、ドウモ値段ガ抑ヘラレル、稅ハ

宜イトシテモ、幾多ノ煩瑣ナ監督ガアル爲ニ、一部デハ人心ガ倦怠スル、人心ガ逃避産ノ縮少ニナルト云フ意味ノアル所モアリマス、デ餘リニヤリ方ガ煩瑣ニナリ、又其ノ積極的ニ擴充シタイト云フ氣分ヲ削弱時ニハ、恰モ此ノ租稅ノ中デ賦課徵收ノ費用ノ方ガ高クナッテ、本當ノ純收入ハ少クナルト云フガ如クニ、生産擴充ノ爲ニ計ルコトガ却テ縮小ニナルト言フ弊ガ少クナインデアリマス、殊ニ統制ニ付テハ、何處デモ彼處デモ、彼モ統制シヨウ是モ統制シヨウト云フ統制ニ誘ハレテ、研究ガ十分ニ屆カズニ統制ヲスル、ソレハ必要ハナカツノダ、ヤラナクテ濟ンダンダト云フモノガ統制サレル、此ノ席デ私ハ申スコトハ避ケマスガ、物ニ依ルト、或物ヲ統制シタ、何故統制シタカト言ヘバ、其ノ原料ハ非常ニ少クナツカカラ統制セザルヲ得ナイノダ、處ガ統制シタ爲ニ今度ハ非常ニ「ローズ」ニナツテ、折角ノ原料ガ出來テ居ル物ガ今度ハ無駄ナルノダ、ソレデヤ後ノ物ガ出來ルノカト云フト、ソレハ又出來ナインダト言フ、前ニモ後ニモ動キノ付カヌモノガアルノデアリマス、無論數多イ物ノ中ニハ、幾多ノ出来不出来ガアリマセウ、私ハ餘リ威信トカ行掛リトカ云フコトニ捉ヘラレズニ、澤山ヤツテ居ル中ニハ、イクナイモノガアレバソレハ變ヘルノデアリマス、「ドレイツ」ナドデハ、尻カラ尻カライケナイト云ヘバ變ヘテ行カサウデアリマスガ、ヤツテ見テ成ル程此ノ

點ハイカヌト言ヘバソレハ變ヘルベキデア  
ツテ、爲ニ故ラ平地ニ波ヲ起スト言フコト  
ガ期待シテ居ツテ、マダサレヌモノガアリマ  
ス、例ヘバ婦人團體ノ如キハ、此處デ私ガ  
諱ク申上ゲズトモ、地方ヘ行ッタレバ到ル  
處デ私共ガ聞クノハ、婦人團體ノ重複對立  
ニ伴フ惱ミデアリマス、是ハ私諱クハ申シ  
マセヌガ、一般ノ民衆ハ統制サレテ、白米  
ヲ手ニ入レル爲ニ半日掛ツタ云フコトモ  
出來ルガ、今度ハ統制ニ依ツテ助カラウト  
思フ、一方ハ一向助ラナイ、是ヂヤ差引キ  
ドウナルシングド云フ如キ聲モ聞クノデアリ  
マス、更ニ國策會社ニ付テ是モモウ殆ド私  
ガ此處デ辯ヲ弄スル迄モアリマセヌガ、統  
制シテ國策會社ニシタ以上ハ、信賴シテ十  
分ニ其ノ機能ヲ發揮セシムベシト云フコト  
デアリマス、今日ハ大キク統制サレテ、更  
ニ在來ヨリモ煩瑣ナ監督トカ手續ニ依ツテ、  
折角ノ生産擴充ノ目的ガ思フヤウニイカヌ  
ト云フ事例ガ少クナイノデアリマス、是等  
ノ點ハ尙色々々申シタイコトハアリマス  
ルガ、或ハモウ委員會ノ席ニ讓ルカモ  
知レマセヌガ、赤池君ガ經濟統制ニ付  
テ又質問サレサウデアリマスカラ、私  
モ唯、此ノ一ツ書キノヤウナ程度ニ止  
メル次第デアリマス、最後ニ總理大臣  
ニ質問ヲ致スノデアリマスルガ、新體制ニ  
對スル國民ノ認識ヲ深メル、之ヲ普及スル  
ト云フ點デアリマス、今日迄ハドウモ説明

ガ足リナイト云フコトガアル、或ハ甲ノ話ト乙ノ話ト、ソレガ多岐ニ分レルト云フヤウナコトモアリマス、是ハ政府ノ側ニモアレバ、大政翼賛ナゾニモサウ云フ氣味ガアリマス、ソレカラ一般ノ説明、ヤリ方ガドウモ理論闘争ノヤウニナツテ居ツテ、話シタコトモ聞イタガ矢張リ分ラナイ、又現雜誌等ニ於テモ殆ド今大部ヲ占メテ、是等ノ問題ニ付テ色々説イテ居リマスガ、理論闘争ニ偏シテ、實ハ私共ガ讀ムダケデモ骨ガ折レル位デ、ドウモ分リニクイ位デアリマスガ、ドウモ一般民衆ニハ解セナイノデアリマス、私ハ地方へ參リ、マシテ、一般民衆ニ、新體制ト言ヘバ分ラヌモノノ符牒ト云フガ如キ言葉ヲ使フ者ガアリマスカラ、デヤナイカ、人間ハ自分ノ都合ノ好イコトハ兎角忘レ勝チデアリ、餘リニ其ノ方ハ氣ガ付カナイガ、困ツタ方ハ尾ニ鰐ヲ附ケテ愚痴ヲコボスシング、今日新體制ト云フコトニナツタカラ、結婚ノ時デモ葬式ノ時デモソコニ披露目ヤ何カセヌ無駄ガ省ケタ、或ハ活花、造花トカ色々ナ物ヲ贈ルコトガ、良クナイトハ思ヒナガラモ因習ノ久シキ止メラレナカツタ、今度ハ止メラレタカラ、一方デハ物ガ高ウナツタコボシテ居ルガ、金ガ掛ツタモノガ皆省ケテ來テ居ルデヤナ

イカ、デ我々ノ生活上ノカラ見テモ七・七  
禁令ノ時ナゾモ、其ノ過渡ノ際ノ適用ニハ  
一部ニ手違ヒモアリマシタラウガ、兎ニ角  
奢侈ハイカヌ、贅澤ハ止サウ、斯ウ云フ氣  
持ニ依ツテ自ラ銘々ノ生活ガ相當改善サレ  
テルト云フモノガ一面相當アルノデアリマ  
ス、併シ何ト言ツテモ此ノ新體制ノ趣旨ガ、  
地方一般ニハモウ一ツ徹底ヲ缺イテ居リマ  
ス、私ハ寫眞週報トカ週報ト云フヤウナモ  
ノガマツト廣ク行ハレ、更ニ尙平易ナモノ、  
通俗ノモノガ擴ガリ、又之ニ依ツテ所在所  
在デ其ノ土地ノ人々ニ説明ヲスル何等カ方  
法ヲ講ズルナリ、是等ノ點ニ一面力ヲ入レ  
ルコトト、ソレカラ此ノ程ノ總理大臣、又  
他ノ閣僚各位ノ時局ニ付テ話サレタ點カラ  
考ヘテモ、ドウモ一般國民ニマダ知ラシメ  
ル程度ガ足リナイ、モウ少シ知ラシメナキ  
ヤナラヌ、新聞デ言ヘバ禁止事項ナゾモウ  
一つ之ヲ狹クシ、更ニモウ少シ知ラシメル、日  
本國民ハ一難増ス每ニ勇氣百倍スルノデ、知ラ  
ナイコトガ疑惑ヲ増シ、不安ノ念ヲ起シ、  
又ソコニ幾多ノ「デマ」ガ横行スルノデアラ  
ウト思フノデアリマス、ソレカラ大政翼賛  
ニ付テハ、私ハ準備委員會ガ出來、此ノ機  
構ガ出來上ツテ後ニ總務ノ一人ニナツテ居リ  
マスルガ、前後三回程之ニ出席モシマシタ  
ノデ、多少内部ノ側ノ事情モ承知シテ居リ  
マス、如何ニモ新規ナ寄合ヒ世帶デアレダ  
ケノ大キナ仕事ヲヤラウト云フノデアリマ

スカラ、自體容易デナイノデアリマス、過般ノ協力會議ヲ見テモ、私共地方ヲ廻ツテ見テモ、地方デハ縣廳ト云ハズ其ノ土地ノ委員其ノ他ハ可ナリ熱心ニヤッテ居ルノデアリマス、私共實ハ申譯ガナイト思ツテ歸ルコトモアリマス、新體制ノ有ラユル事柄ニ對シテ、東京トカ大阪トカ云フ大キナ中ニ居ルト、色々ナル雜音ガアツテ分り難イガ、地方ニ参リマスト、此ノ物資ノ問題デモ、中央ヲ待チ兼ネテ、米デモ「マツチ」デモ砂糖デモ、切符制ヲヤルモノハドンヽヽヤツテ居ルノデアリマス、大政翼賛ノ仕事デモ、處ニ依ルト或町村デハ可ナリ熱心ニ、身錢ヲ切ツテヤツテ居ルノサヘアルノデアリス、處帶、而モソレガ新規デアリ、其處ニハ有ラユル方面ノ人ガ入ツテ居リマスカラ、ナカナカ進行ガ遅タシテ居リマス、從ツテ今頃ニナツテ尙ソレガ違憲デアルカドウカ、其ノ性格ガドウカト云フコトガ、現ニ衆議院デモ論議サレテ居リマス、恐ラクハ私ハ此ノ機會ニ總裁トシテ總理大臣カラモ御話ガアルト更ニ此ノ幹部ノ陣容ガモウ一ツ固マルコト、思ヒマスガ、私トシテハドウシテモ中心ニ立ツ者ガ、ヨリ犠牲的精神ヲ發揮スルコト、更ニ此ノ幹部ノ陣容ガモウ一ツ固マルコト、マセヌガ、全國ノ町村ニ對シテ、此ノ運動ヲナス爲ニハ成ルベク中央ノ費用ヲソレニ主張デ、是非是ハヤラネバナラスト云フモ

ノニ重キヲ置イテ、之ニ全力ヲ集注シテ行  
クト云フガ如キコトガ考ヘラレルノデアリ  
マス、是等ニ對スル所見モ承知シタインデ  
アリマス、私ガ總理大臣ニモ御伺ヒシタイ  
問題ノ中心ハ、斯ウ云フ時局ニナツテ、所謂  
舉國一致、一億一心デ進ム時ニ、詰リ官廳  
自體ガ其ノ範ヲ示シ、自ラ之ニ律セヨ、之  
ニ對シテドウサレルカト云フコトガ私ノ質  
問ノ重點デアッタノデアリマス、是ハ總理  
大臣ノ施政演説ノ中ニモ、官廳自體ノ革新  
ト云フコトハ既ニ明言サレテ居リマス、又  
衆議院デモ此ノ點ニ付テ豫算總會ノ質問ニ  
對シ、總理大臣ハ不急不要ノ事務ノ整理、行  
政機構ノ改革、事務ノ簡捷、是等ヲ舉ゲテ  
居ラレマス、官吏制度ハ既ニ濟ミマシタガ、  
一般ノ國民ノ期待シテ居ルコトハ、先ヅ官  
廳自體ガ如何ニ律シテ行クカ、民間ノ仕事  
ハ統制々々ト言シテ相當ノ革新ヲ加ヘラレ  
テ居ルガ、政府自體デハ毎年々々豫算ハ殖  
エルバカリリデアリ、其ノ組織モ増スバカリ  
デアリ、茲ニドウモ所謂規正ト云フ實ガ舉  
ラヌノデハナイカ、之ガ矢張リ問題ノ中心  
デアラウト思フノデアリマス、私共長ク官  
吏ヲ致シタ經驗カラ見マシテモ、御承知ノ  
毎年新規豫算ハ各省ノ分取リノ競争デア  
リ、又既得權トナツタ既定ノ豫算ト云フモ  
ノハ、先ヅズット据置ニナツテ居リマス、併シ  
恰モ民間デ無駄ナモノハ止メ、ヨリ必要ナ  
仕事ニ集注スルガ如クニ、各官廳ノ仕事デ  
モ先ヅ此ノ際ハヨリ必要ナ方ヘ、此ノ官界  
ノ中デモ所謂此ノ轉業ト云フモノガアルベ

キデハナイカ、言フ迄モナク此ノ戰ヒハ何時濟ムカ知レマセヌ、此ノ時局ハ何時克服サレルカ知レマセヌガ、此ノ後ハ、我等ノ公債ハドン／＼増シテ行ク、濟ンダ後ハ必ズヤ反動時代トシテ大整理ヲ要シマス、戰ヒニ非常ニ儲カタト云フアノ「アメリカ」合衆國ガ、「フーヴァー」大統領ノ時ニドレダケノ財政整理ニ努力ヲ致シタカ、「イギリス」デハ當時約三分ノ一ノ豫算減ト云フコトヲ立テタケレドモ、政府ノ力デヘ到頭出來ナクテ、有名ナ「ゲヂス・コンミッティ」ト云フモノガ開カレタノデアリマス、デ將來ノ爲モ爲デアリマスガ、兎ニ角時局ノ間ダケデモ、總理大臣ノ述ベラレタ不急不要事務ノ整理ト云フコトハ是非勵行シテ戴キタイノデアリマス、私共ハ役人時代ニ數次此ノ行政整理ニ出喰ハシテ、一割減、二割減ト云フノデ色々其ノ時局ニ當リマシタ、是ハ問題ハ課長連ガオ互ニ自制シテ局長ニ累ヲ及ボサヌ、局長ハ局長デオ互大局ヲ考ヘテデヤ／＼張ラズニ、大臣ヤ次官ノ氣持ニナシテ之ニ當ルト云フヤウニ、順次各省ノ大臣ハ又總理大臣ノ氣持ニナシテ之ニ從フト云フノデナケレバ、ナカノ／＼是ハ實現ハ骨ガ折レルト思フノデアリマス、茲ニ私ハサウ云フ場合ニ、マア處ニモ依リマセウガ、外地關係ニナルト、或ハ南支那方面ニナルト、ソヨニ外務關係、陸軍關係、海軍關係、拓務關係或ハ臺灣總督府關係、興亞院關係、隨分煩雜トナツ

テ居ツテ、折角其ノ方面デ時局ニ應ジテ極メテ敏活ニ行動ヲ取ルベキ仕事ガ、相當澁滯シ惱ンデ居ルコトモ承知シテ居リマス、是等ノ點ニ付テハ私昨年ノ豫算總會デモ既ニ述べマシタカラ、是ハ略シマスルガ、内地ノ分ニ付テ唯一ツノ例ヲ茲ニ参考迄ニ申上ゲタイノデアリマス、ソレハ例ヘバ此ノ府縣ノ行政區劃ノ問題デアリマス、今日程交通ガ發達シテ來ルト、在來ノ府縣ノ區劃デハモウ狹イノデアリマス、私ガ府縣ノ行政區劃ニ付テ何等カノ革新ヲ必要トスルト云フ念ヲ起シタノハ日露戰爭ノ當時デアリマスルガ、其ノ當時私ハ電氣事業ノ監督ノ仕事ヲ執ツテ居リマシタ、桂川ノ水力電氣、此ノ東京電燈ノ水力ノ源ニナル山梨縣ノ都留郡駒橋ノ發電所、アレカラ東京へ送電サレルアノ事業ノ時ニ、山梨縣ハ、時ノ佐竹作太郎君ガ東京電燈ノ社長デ、縣廳モ力ヲ入レテヤツテ居リマシタガ、是ガ駒橋ノ發電所カラ東京迄運ンデ來ルト云フ時ニハ、ソコニ猿橋ノ方面ニ、僅カナ點ガ神奈川縣ニナッテ居リマス、此ノ神奈川縣ニ其ノ検査ヲ願フコトニナッテ、其ノ當時ノ神奈川縣デハ、サウシタ役者ガ足リナイデナカ／＼検査ニ來テ吳レガ遅レ、又一般ニ是ヲ利用スル時期ガ延ビルノデアリマス、今度ハ宇治川ニ行キマスト、モ唯三倍ダケノ時ヲ要スルト云フノデナク宇治川電力ハ滋賀縣ト京都府ト大阪府トニ跨シテ居リマスルカラ、一ツノ地區ニ對シテ

テ、其ノ水位トカ云フ議論ヲ始メ  
マスカラ、滋賀縣ト京都府トノ間ニ意見ガ  
又纏ラナイトカドウトカ云フコトデ、是ハ可  
ナリ長イ間此ノ地區ハ延ビタノデアリマス、  
丁度ソレハ皆、京濱電車デ川崎カラ先ハ煙  
草ハ喫ンデモ宜イ、ソレカラコッハ喫ンデ  
ハイカヌト云フ、古イ時代ノ話デアリマス  
ルケレドモ、二十年程経テ、私ガ朝日新聞ニ  
在社シテ居ル頃ニ、甲子園ノ野球大會  
ノ映畫ノ檢閱ヲ求メルト云ヘバ、皆各府縣  
ニソレバ、檢閱ヲ求メナケレバナラヌ、今  
度ハ朝日デ演劇ヲヤル、「シエーグスピア」  
ノ有名ナ「ハムレット」ヲ上演スル、此ノ決  
タ脚本ヲ出シテモ、今度ハ大阪ナラ大阪ノ  
府廳デハ此ノ脚本ヲ認可シナイノデアリマ  
ス、何カト云ヘバ、是ハ國交ヲ害スルト云  
フ、結リ區々ニ瓦ツテ居ルノデ、有ラユ  
知縣ガ、茲ニ統一サレタ機關ガアツナラ  
バ、四日市ト熱田トノ築港ニ餘り競争ハナ  
カツタト思フノデアリマス、或ハ關門ニ於  
テモ、門司ト馬關ト云フモノガアツノ組織  
ノ下ニ入シテ居タナラバ、ドレダケアノ關  
門ノ總テノ仕事ガ拂ルカ知レナイノデアリ  
マス、更ニ和歌山縣ト三重縣ノ境ニ熊  
野川ガアリマスガ、新宮市ノ其ノ岸ヲ流レ  
テ居ル熊野川ニ最近迄橋ガ架ラナカツタノ  
デアリマス、或ハ千葉縣ノ我孫子ト茨城縣ノ  
取手ノ宿ノ間ノ、アノ利根川ニ橋ガ架シタノハ  
極ク最近デアリマス、茨城縣デハ東京ヘ用

ガアルカラ橋ヲ架ケタイガ、千葉縣ノ方デ  
費用ヲ受持ッタツテ茨城ヘノ用ハ少イト  
云フノガ、アノ橋ノ出來上ルノガ非常ニ遅  
シ同ジデアツタナラバ、國立公園ノ阿蘇カ  
ラ久住別府ヘ向ケテ、ドレダケ交通ノ道ガ  
拓ケテ居タカ知レナイノデアリマス、今日  
デハ益々統制ノ爲ニ各府縣ノ間ニ打合セヲス  
ルコトガ非常ニ頻繁ニナリマシタ、私共地  
方何處ヲ旅シテ居ツテモ、東北ハ東北、九州  
ハ九州ト其ノ土地々々デ、其ノ縣ノ經濟部  
長或ハ警察部長、サウ云フ人達ガ殆ド三日  
ニアゲズニ寄合ヒヲシテ居ルノデアリマス、  
或縣ニ行ツテモ、此ノ縣デ知事カラ各部長ガ  
皆揃ツタコトハナイト云フコトヲ能ク聞ク  
ノデアリマス、ソレ程御互ニ打合セガ必要  
ニナツテ來テ居ルノデアリマス、從ツテ斯ウ  
シタ「プロレック」ヲモウ一ツ組織化シテ、ソ  
コデ集ツテ決メタナラバ其ノ事業家ガ各官廳  
ヲ一々廻ラナイデ濟ムト云フヤウナコトガ  
出來ルト、ドレダケ生産ノ擴充ガ出來ルカ  
知レナイノデアリマス、今日、四國ト九州  
ト臺灣ト尙一二三縣集メタ位ノ北海道ニ、一  
ツノ道廳ガアリマス、何モ府縣ノ併合ト云  
フト荒立ツナラバ、唯其ノ上ニ道廳トカ州  
廳ヲ置クコトガ、大東亞ニ迄日本ノ總テノ  
立場ハ極メテ重大ニナツテ參リマシタガ、此  
ノ際新體制ノ聲ガ起リ、政黨ノ解消ガアリ  
マシタ、我々學生時分カラ藩閥政府ト鬪ツ  
テ居タ此ノ政黨ノ過去ノ動キヲ思フト、更  
ニ私共ノ非常ニ豫期ニ外レタコトハ、内  
閣ノ政變デアリマス、現近衛内閣ハ確カ第  
コトハ私共夢ニモ思ツテ居ラナカツタ、更  
に日本ノ將來ノ上ニ考ヘナケレバナラナイ、  
ト、一代ガ先ヅ一箇年ト三箇月足ラズデア  
トカ西園寺内閣デアリマスカ承知シマセヌ

ガ手ヲ握ルト云フコトニナレバ、眞ツ先キニ  
ヤラウト主張サレタ一人者ト聞イテ居リマ  
ス、ドウカ此ノ官廳ノ新體制、斯ウ云フ時  
デナケレバナカノヤレナイノデ、私ノ申  
シタノハ、是非之ヲヤッテ行キタイトカドウ  
トカ云フノデハナク、唯一例ヲ此處ニ申上  
ゲタノデ、各方面ニ通ジテ此ノ際決行シテ  
戴キタイト思ヒマス、以上ハ大體私ノ質問  
ノ大要デアリマシタガ、尙最後ニ一言附加  
シタ「プロレック」ヲモウ一ツ組織化シテ、ソ  
コデ集ツテ決メタナラバ其ノ事業家ガ各官廳  
ヲ一々廻ラナイデ濟ムト云フヤウナコトガ  
出来ルト、ドレダケ生産ノ擴充ガ出來ルカ  
知レナイノデアリマス、今日、四國ト九州  
ト臺灣ト尙一二三縣集メタ位ノ北海道ニ、一  
ツノ道廳ガアリマス、何モ府縣ノ併合ト云  
フト荒立ツナラバ、唯其ノ上ニ道廳トカ州  
廳ヲ置クコトガ、大東亞ニ迄日本ノ總テノ  
立場ハ極メテ重大ニナツテ參リマシタガ、此  
ノ際新體制ノ聲ガ起リ、政黨ノ解消ガアリ  
マシタ、我々學生時分カラ藩閥政府ト鬪ツ  
テ居タ此ノ政黨ノ過去ノ動キヲ思フト、更  
ニ私共ノ非常ニ豫期ニ外レタコトハ、内  
閣ノ政變デアリマス、現近衛内閣ハ確カ第  
コトハ私共夢ニモ思ツテ居ラナカツタ、更  
に日本ノ將來ノ上ニ考ヘナケレバナラナイ、  
ト、一代ガ先ヅ一箇年ト三箇月足ラズデア  
トカ西園寺内閣デアリマスカ承知シマセヌ

ガ手ヲ握ルト云フコトニナレバ、眞ツ先キニ  
ヤラウト主張サレタ一人者ト聞イテ居リマ  
ス、ドウカ此ノ官廳ノ新體制、斯ウ云フ時  
デナケレバナカノヤレナイノデ、私ノ申  
シタノハ、是非之ヲヤッテ行キタイトカドウ  
トカ云フノデハナク、唯一例ヲ此處ニ申上  
ゲタノデ、各方面ニ通ジテ此ノ際決行シテ  
戴キタイト思ヒマス、以上ハ大體私ノ質問  
ノ大要デアリマシタガ、尙最後ニ一言附加  
シタ「プロレック」ヲモウ一ツ組織化シテ、ソ  
コデ集ツテ決メタナラバ其ノ事業家ガ各官廳  
ヲ一々廻ラナイデ濟ムト云フヤウナコトガ  
出来ルト、ドレダケ生産ノ擴充ガ出來ルカ  
知レナイノデアリマス、今日、四國ト九州  
ト臺灣ト尙一二三縣集メタ位ノ北海道ニ、一  
ツノ道廳ガアリマス、何モ府縣ノ併合ト云  
フト荒立ツナラバ、唯其ノ上ニ道廳トカ州  
廳ヲ置クコトガ、大東亞ニ迄日本ノ總テノ  
立場ハ極メテ重大ニナツテ參リマシタガ、此  
ノ際新體制ノ聲ガ起リ、政黨ノ解消ガアリ  
マシタ、我々學生時分カラ藩閥政府ト鬪ツ  
テ居タ此ノ政黨ノ過去ノ動キヲ思フト、更  
ニ私共ノ非常ニ豫期ニ外レタコトハ、内  
閣ノ政變デアリマス、現近衛内閣ハ確カ第  
コトハ私共夢ニモ思ツテ居ラナカツタ、更  
に日本ノ將來ノ上ニ考ヘナケレバナラナイ、  
ト、一代ガ先ヅ一箇年ト三箇月足ラズデア  
トカ西園寺内閣デアリマスカ承知シマセヌ

ス、第二次ノ近衛内閣ハ、組閣ノ徑路ト云ヒ、大本營トノ聯繫ト云ヒ、或ハ新體制、或ハ大政翼賛會、著々ト在來ト違ツタ立場、此ノ時局ノ大キナ動キニ竊從スペク、今其ノ職ニ努メラレテ居ルノデアリマス、デ私共ハ滅私奉公、國民總親和、或ハ一億一心ト申シマスルガ、是ハナカヽ實情ヲ見ルトマダ其ノ實ハ舉リ得ナイノデアリマス、無論明治維新ノ幕末カラ西南ノ役ニ至ル迄ノ徑路ヲ顧ミテモ、憲法ノ下デモ、流血ノ慘ヲ見ズシテ幾多ノ革新ヲショウト云フコトハ容易デハナイノデアリマス、極メテ因難デハアリマセウガ、今日ニ至ツテハ我々ハ好キ嫌ヒモ何モ言ッテ居レナイノデアリマス、ドウシタレバ此ノ時局ニ處シ得ルカ、之ニ對シテ唯手ヲ挙イテ見テモ居ラレナイ、唯心配バカリシテ居ツテモ、是モ限リハナインデアリマスガ、萬民皆ソレヽ其ノ力ニ應ジテ、所謂舉國一致ノ實ヲ擧ガナケレバナラナイト思ヒマスガ、ソレニハ何ヨリモ中央政府ノ熱ト力ト云フモノデ重點主義ニ依リ總テヲ即決シテ行ク、更ニ官廳先ヅ其ノ範ヲ示スト云フコトニ依ツテ、此ノ大キナ任務ガ果サレテ行クノデハナイカト思フノデアリマス、總理大臣ハ一死以テ奉公ノ誠ヲ致ス覺悟デアルト云フコトヲ言明決意ガ一般ノ民衆ニ知ラレ、其ノ決意ニ依ツテ又官廳自體カラ其ノ實ガ擧シテ行ケバ、茲ニ一億一心ノ實ヲ見國民モ皆足ヲ地ニ付サレテ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、其ノケテ行キ、苦勞ヲセズニ明ルイ氣持テ愉快

テ…（拍手）

○國務大臣(松岡洋右君) 疑ノ中デ、外交ニ關スル部分ニ付テ御答へ致シマス、一般國際情勢、特ニ支那事變及支那問題ニ付テ御述ニナリマシタ所ハ、全然御同感デアリマス、既ニ下村サンノ御指摘ニナリマシタ通リノ方針デ政府ハ進ミツツアルノデアリマス、ソレカラ方策ニ付テ御質問ニナリマシタガ、一々ノ方策ニ付テヘル時機ニ達シテ居ラヌモノモアリマスシ、又述べ得ナイモノモアルノデアリマスノデ、其ノ點ハ御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス、ガ殊ニ御指摘ニナリマシタ工場其ノ他ノ管理、是ハ私カラ説明申上ゲル迄モナク、戰鬪上實ニ已ムヲ得ズシテ支那側ノ工場其ノ他ヲ管理シタモノモゴザイマスガ、是ハ南京政府ヲ中華民國ノ正<sup>統</sup>政府トシテ認メラレタモノナリ以前ニ於キマシテ、我ガ皇軍ノ方策既ニマス、時ニ持主ヲ搜シテモ申出ル者ガナイト云フ場合ハ、寧ロ皇軍ノ方デ困シテ居ルヤハ、隨時支那側ニ返還ヲシテ居ルノデアリマス、時ニ持主ヲ搜シテモ申出ル者ガナイト云フ場合ハ、寧ロ皇軍ノ方デ困シテ居ルヤウナ次第アリマス、尙引續キ此ノ點ニ付テハ飽ク迄中華民國人ノ物ハ、戰鬪行爲ニ

ノ問題ニ付テハ南京政府ヲ支援シ又其ノ  
政策ニ協力セムコトヲ期シテ居ルノデアリ  
マス、之ヲ要スルニ既ニ汪精衛氏ヲ首班ト  
スル新政府ヲ民國ノ正統ナル中央政府トシ  
テ認メマシタ以上、從來ニ比シテ更ニ一段  
ノ力ヲ致シマシテ、一日モ速カニ一般民生  
ノ安定ト、新政府ノ政治力ノ浸透ニ付キマ  
シテ、帝國政府ハ飽ク迄支援協力ヲ期シテ  
居ル次第デゴザイマス

〔國務大臣東條英機君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(東條英機君) 御答へ致シマス  
前ニ、御断リヲ致シマシテ置キタイト思ヒマ  
スノハ、私先程宮中ニ參リマス關係上中席  
ヲ致シマシタ、其ノ間ニ於キマスル御話ヲ  
次官カラチヨット大筋ダケ承リマシタガ、細  
カイ點ヲ聽キ漏シマシタノデ、或ハ申上ゲ  
ルコトガ御尋ネニナルコトトピタット一致  
セヌト云フコトモアルカトモ考ヘマスガ、  
大體承リマシタコトニ付キマシテ御答ヲ申  
上ゲマス、第一ガ、當初ニ御尋ネニナリマシ  
タ此ノ支那事變ノ遂行ニ當ツテ、兩民族、即  
チ支那民族竝ニ日本ノ國民ト云フモノガ、  
眞ニ親シク提携シテ行クト云フコトヲ考ヘ  
テ行カナケレバナラヌノヂヤナイカ、サウ

國務大臣兼祭英

ノ期シテ居ルノデアリ  
既ニ汪精衛氏ヲ首班ト  
正統ナル中央政府トシ  
從來ニ比シテ更ニ一段  
一日モ速カニ一般民生  
政治力ノ浸透ニ付キマ  
迄支援協力ヲ期シテ  
機君演壇ニ登ル」  
君) 御答へ致シマス  
シテ置キタイト思ヒマ  
參リマス關係上中席  
間ニ於キマスル御話ヲ  
ダケ承リマシタガ、細  
シタノデ、或ハ申上ゲ  
ルコトトピタット一致  
ハカトモ考ヘマスガ、即  
付キマシテ御答ヲ申  
ルコトトピタット一致  
マス、又此ノ日支事變其ノモノノ本質ニ鑑  
ミマシテモ、當然然ルベキコトト考ヘテ居  
リマス、更ニ之ヲ具體的ニ申シマスナラバ、  
即チ戰ヒト云フモノ、其ノ氣持ト云フモノ  
ヲ具體的ニ申シマスルナラバ、皇軍ニ抗ス  
ル所ノ敵ガアツタナラバ、烈々タル武威ヲ振  
ツテ斷乎之ヲ排撃セヨ、假令峻嚴ノ威克ク敵  
ノ屈服セシムトモ、服スルハ擊タズ從フハ  
ザイマス、凡ソ皇軍ハ言フ迄モナク勅諭ノ  
御精神ヲ本旨ト致シマシテ、八紘一字ノ大  
義ニ基キマシテ有ラユル行動ヲ致シテ居リ  
マス、皇軍ノ一カラ十マデノ行動ハ皆之ニ  
歸結ヲ致シマス、現ニ戰地ニ於キマシテハ、  
作戰的ニハ敵ヲ控ヘテ有ラユル手段ヲ盡シ  
テ之ノ擊滅ヲ期シテ居リマス、併シナガラ  
是ハ膺懲ノ爲ノ手段デアル、親心ヲ以テ子  
ヲ折檻スル所ノ氣持デアリマシテ、之ガ參ッ  
タト言ツタ場合ニ於テハ欣ンデ左手ヲ出シ  
テ之ヲ抱クト云フ、抱キ上ゲテヤルト云フ  
所ノ氣持デ居ルノデアリマス、是レ即チ當  
初ニ申上ゲマシタ御勅諭ノ精神デアリ、八  
紘一字ノ御精神デアルト拜察スルノデアリ  
マス、又此ノ日支事變其ノモノノ本質ニ鑑  
ミマシテモ、當然然ルベキコトト考ヘテ居  
リマス、更ニ之ヲ具體的ニ申シマスナラバ、  
即チ戰ヒト云フモノ、其ノ氣持ト云フモノ  
ヲ具體的ニ申シマスルナラバ、皇軍ニ抗ス  
ル所ノ敵ガアツタナラバ、烈々タル武威ヲ振  
ツテ斷乎之ヲ排撃セヨ、假令峻嚴ノ威克ク敵  
ノ屈服セシムトモ、服スルハ擊タズ從フハ  
ノデヤナイカ、サウ

ニ持久戦ニ對處シ得ベキカト存ジマス、甚  
ダ意餘ツテ言葉足ラズ、又言葉モ言ヒ過ギテ  
禮ヲ失シタコトガアラウカト思ヒマスガ、  
ドウカ此ノ稀ナル機會ヲ利用サレマシテ、  
私ハ當局ガ極メテ解リ易ク懇切ニ答辯アラ  
ムコトヲ望ミマス、長ク清聽ヲ煩シマシ  
テ……(拍手)

絶對必要トスルモノヲ除イテ、出來ルダ進持主ニ返還シテ行キタイト云フ考デ歩ヲ進メテ居ルノデアリマス、又中華民國人ノ民生問題ニ付テハ特ニ重キヲ置キマシテ、南京政府ニ於テ有效適切ナル處置ヲ講ゼムコトヲ熱望シテ居ルノデアリマシテ、我ガ軍初メ、帝國ノ支那ニ於ケル諸機關ハ、極力方

云フ點ヲ能ク内地ノ國民ニ徹底ヲサセ、外  
地ニ於ケル軍隊ノ末稍迄徹底サセル必要ガ  
アルガ、其ノ點ハドウシテ居ルノカト云フ  
御質問デアッタヤウニ記憶シテ居リマス、又  
第二ノ點ト致シマシテ、満洲或ハ戰地ニ於  
ケル軍隊將兵ガ他ニ接スル場合ニ於テハ、  
如何ナル心掛ヲ以テヤッテ居ルノカト云フコ

慈シムノ徳ニ缺クルアラバ、未ダ以テ全シトハ言ヒ難シ、武ハ驕ラズ仁ハ飾ラズ、自ラ溢ル、ヲ以テ尊シトナス、是ハ過般戰陣訓リマスルガ、其ノ一節デゴザイマス、具體的ソレデ以テ終リマス、第二ハ、戰地ニ於ケノ考ヘト致シマシテハ、斯クノ如キ積リヲ以テ行動ヲ致シテ居リマス、第一ノ問題ハソレデ以テ終リマス、第一ハ、戰地ニ於ケル壯丁ノ體格低下ヲ防止スル爲ニ、醫療衛生等ニ關シテ軍ハ如何ニ留意ヲシテ居ルカト云フ御尋ネガアッタヤウニ承リマス、今次事變ノ作戰地域ガ、寒暑共ニ激シク極メテ非衛生的ナル環境裡ニアルノデゴザイマシテ、此ノ關係上、兵員ノ體力保持ニ付キマシテ格別ノ考慮ヲ要スルモノガアルト云フコトハ御説ノ通リデゴザイマス、固ヨリ戰鬪ハ生死ヲ超脱ラシ、且有ラユル困苦缺乏ニ堪ヘ、假令ソコニ飲マズ食ハズデモ、石ニ嚼リ付イテデモ任務ノ達成ニ邁進スペキデアル、故ニ戰鬪間ノ給養ト云フコトハ之ヲ本フ場合ニ於キマシテハ十分ニ此ノ間ヲ利用シテ、極力體力ノ恢復ヲ圖シテ、成ルベク現地ノ生物等ヲ豐富ニ供給スルノ外、或ハ追送ヲ活潑ニスル等ノ方法ニ依リマシテ、全力ヲ擧ゲテ栄養ノ補給ニ遺憾ナカラシメテ居ル所ノ次第デゴザイマス、特ニ近時健兵力衛生保育ニ對シマスル所ノ熱意ナリ、或ハ

士氣ノ向上ヲ圖ッテ、其ノ完全ヲ期シツ、ア  
ルノデアリマス、又被服ニ付キマシテハ、  
事變地各方面ノ氣候ノ状況ニ應ズル如クソ  
コニ細心ノ考慮ヲ拂ヒマスルト共ニ、修理  
ナリ、洗濯ナリ、消毒ト云フヤウナ施設ヲ  
十分充實ヲサセ、成ルベク充實ヲサセ、尙  
又防疫トカ給水ト云フコトヲ擔任スル部隊  
ニ依リマシテ、至嚴ナルソニ防疫ヲ實施ス  
ル外、常に無菌無毒ノ淨水ヲ供給スルト云  
フコトニモ十分ナル注意ヲ拂ツテ居リマス、  
又各種ノ豫防施設等ノ徹底ヲ圖リマシテ、  
是等ニ依リマシテ細心ナル指導ノ下ニ惡疫  
流行ヲ未然ニ防止シツ、アル状況デゴザイ  
マス、最近陣中醫學ノ飛躍的進歩ト併セテ、  
幸ニシテ現在迄ノ所ニ於キマシテハ、既往  
ノ戰役ノミナラズ、外國軍ニ比シマシテモ、  
良好ナル衛生ノ成績ヲ收メツ、アル次第デ  
ゴザイマス、唯茲ニ附言シテ申上ゲタイノ  
ハ、有ラユル方法ヲ盡シテ居リマスルガ、  
此ノ問題ニ付キマシテハ、根本ハ國民體位  
ノ向上ガ根本問題デゴザイマス、此ノ點ニ  
付キマシテ、政府ハ十分ナル所ノ考慮ヲ  
回ラシ施策ヲ盡シテ居ルノデアリマス、第  
トハ、今後日滿支ノ親善、親和ニモ裨益ス  
ル所ガ大デアル、現在我ガ國ノ多數ノ壯丁  
ハ、戰地ニ於テ支那語ノ實地習得ニ便ナル  
機会ニ置カレテ居ル、軍ニ於テハ此ノ點如  
何ニ留意ラシ、如何ナル現況ニアルカ、ト  
云フ意味ノ御質問ト拜承致シマシタ、其ノ

點ニ付キマシテ御答ヲ致シマス、在満、  
在支ノ軍隊ニ於キマシテハ、軍自體ノ任務  
達成ノ見地ヨリ致シマスルモ、支那語教育  
ノ必要ヲ認メテ居ルノデゴザイマシテ、在  
満部隊ニ於キマシテハ特ニ此ノ點ニ意ヲ用  
ヒマシテ、其ノ普及教育ヲ實施シツ、ゴザ  
イマス、尙又在支部隊ニ於キマシテシテハ、  
各師團ニ依ツテ異リマスルケレドモ、歸還時  
ニ於テハ、將兵等モ概ネ日用語ヲ辨ジ得ルバ  
カリデハナクシテ、特ニ優秀ナル者ハ簡単  
ナル通譯モ爲シ得ル程度ニ達シタル者モ相  
當多數アルト云フヤウナ實情デゴザイマス、  
第四ハ、陸軍ニ於ケル用語、漢字ノ整理、  
簡易化ニ付テハドウ考ヘテ居ルノカト云フ  
意味ノ點デゴザイマスルガ、軍隊教育ニ於  
キマシテ、直接戰鬪ニ影響ナリ事項ハ努メテ  
之ガ簡易化ヲ圖リマスルコトガ必要デア  
ルト云フコトハ申ス迄モナイト考ヘマス、  
是ガ爲兵ノ教育ニ當リマシテ、難解ナル字  
句用語等ハ努メテ之ヲ廢シマシテ、教育能  
率ノ向上ヲ圖リマスルト共ニ事務能率ノ敏  
活ヲ期スルコトガ必要デアルト考ヘテ處置  
致シテ居リマス、從ヒマシテ、軍用語、特  
ニ兵器ノ名稱等ニアリマシテハ、陸軍省ヲ  
中心ト致シマシテ、委員ヲ作ッテ、努メテ  
此ノ標準語或ハ通俗語ヲ用ヒマシテ、尋  
常小學卒業者ガ之ヲ讀ミ且之ヲ書キ得ル  
ヲ目途ト致シマシテ、其ノ撰擇ヲ爲シ、  
又其ノ使用ヲ制限致シテ居リマス、今後  
標準ノ漢字字數ヲ更ニ制限致シマスルト共  
ニ、片假名等ノ改善ヲ圖リマシテ、且又邦

文「ダイアライター」等ヲモ戰場使用ニ便利ナル如ク改善ヲシマシテ、ソコニ戰鬪敏活逐次本趣旨ノ改善ヲ圖ッテ實質的教育ノ向上ヲ圖ラムコトヲ希望シツ、アル次第アリマス、之ヲ以チマシテ私ノ關係致シマスル點ニ付キマシテノ答辯ヲ終リマス

國ニ於ケル結核ニ因ル壯年時代ノ死亡率ノ如キハ、歐米ニ比シテ四五倍ノ高率ニ上ッテ居リマス程デ、從來結核竈防ニハ、多クノ力ヲ注イデ相対ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト存ジマスガ、今後一般ノ努力ヲ致シタイト存ジマス、又國土計畫ヲ遂行ニ依ル人口ノ權威及分布ノ合理化ヲ圖ルコトモ必要ナルコト存ズルノデアリマシテ、大都市集中ノ抑制、農村人口ノ確保等ニモ力ヲ注ギタイト存ジテ居ル次第デアリマス、要スルニ何ヨリモノ日本民族ハ悠久ニ發展スベキ民族デアルトノ自覺ト衿持トヲ持ッテ、個人主義思想ヤ產兒制限ヲ是認スル享樂的ノ風潮ヲ掃除シマシテ、家ト民族トヲ基調トスル思想ヲ確立スルコトガ急務デアリマシテ、之方爲ニ國民ノ信念、自覺ヲ喚起スル一大精神運動ヲ展開シナケレバナラナイト存ズルノデアリマス、次ニ滿支方面ヘノ移植民ノ體力、精神力ニ付テ御懸念ガアラセラル、ヤウニトモ相當良好デアリマシテ、尙此ノ上調查研

究モ進メテ居ル次第デアリマスカラ、左シテ御心配ニモ及ビスママイト存ジマス、南洋方面ニ對シテハ今後十分ノ研究ヲ致シタ伊ト存ジマス、次ニ外地、就中朝鮮、臺灣ニ付テ申上ダマス、朝鮮ノ增加率ハ人口千人ニ付テ十七人、臺灣ハ二十五人、是ハ出生率ト死亡減少率トヲ差引キマシタ純増加率デアリマシテ、内地ノ增加率ノ最近ノ九人ニ比シテ相當ノ高率デアリマス、皇國

テ居リマス、次ニ官界ノ新體制ニ付キマシテハ、現内閣ノ最初ノ聲明ニモ掲ゲテ居リマスルノデアリマシテ、之ニ付キマシテハジマス  
極力實現ヲ期スル覺悟デアリマス、尙只今下村君ガ御演説ニナリマシタ事柄ハ、政府ノ將來ノ施設ノ参考ニ資シテ参リタイト存

○下村宏君 簡單デアリマスカラ此ノ席カラ御許ヲ願ヒマズ

○議長(伯爵松平頼壽君) 宜シウゴザイマス

○下村宏君 只今總理大臣始メ閣僚各位ノ御答辯ヲ得マシテ満足ニ存ジマス、ドウカ本日ノ決議案ニアリマス通り、是カラノ國際事情ハ時々刻々ニ非常ニ動イテ參リマスカラ、勅語ノ御趣旨ヲ遵奉スルコトト、廣ク苦言直言ヲ聽カレルコトト、毀譽褒貶ノ外ニ立ツ、サウシタ心持テ此ノ時局ニ對シテ自重自愛、君國ノ爲ニ奉公ノ誠意ヲ效サレムコトヲ切望シマス、茲ニ感謝ト希望

○議長(伯爵松平頼壽君) 是ニテ休憩ヲ致シマス、午後ハ二時ヨリ開會致シマス

午後零時四十八分休憩

午後二時七分開議

〔白木書記朗讀〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 報告ヲ致サセマス

當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ  
委員長 侯爵池田 宣政君  
副委員長 子爵立見 豊丸君  
○議長(伯爵松平頼壽君) 是ヨリ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、是ヨリ通告順ニ依リ水野甚次郎君ニ質疑ヲ御許シスル筈デゴザイマスルガ、水野君ハ議席ニ居ラレマセヌカラ、質疑ノ通告ヲ拋棄セラレタモノト認メマス、赤池君ニ發言ヲ御許シシマス  
〔赤池濃君演壇ニ登ル〕  
○赤池濃君 是ヨリ總理大臣ニ施政ニ關シテ御質問ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、ソレニ先ダツテ私ハ、平沼大臣ノ御就任ニ對シテ、心カラノ喜びヲ以テ御祝ヲ申上ゲタイト思フノデアリマシテ、其ノ點御許シヲ願ヒマス、平沼大臣ハ嘗テ總理大臣重任ヲ拜辭サレル際ニ、聲明書ヲ天下ニ發

責任感ノ衰ヘタコトハ今日ヨリ甚シイコトハナイト嘆ゼザルヲ得ナイノデアリマス、噫政道何處ニアリヤ、眞ニ歎カハシイ至リデアリマス、近來政府ハ頻リニ國民ニ、或ハ時局ヲ認識シロトカ、或ハ國民再組織ノ必要ガアルトカト申サレマス、再組織ノ必要モアッタナラバ、ナサレルモ宜シト思ヒシテ其ノ責任ヲ明カニシ、臣道實踐ノ範ヲ示サレタノデアリマス、屢次奏聞シタル所ヲ變更シ、再び望慮ヲ煩シ奉ルニ至ツタコトハ、誠ニ恐懼ニ堪ヘナイカラ闕下ニ伏シテ謹シニ解説致シマシタノハ、決シテ偶然トヲ申上げテ私ノ質問ヲ終リタイト存ジマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 是ニテ休憩ヲ致シマス、午後ハ二時ヨリ開會致シマス

午後零時四十八分休憩

○議長(伯爵松平頼壽君) 報告ヲ致サセマス

〔白木書記朗讀〕

是ハ全ク已ムヲ得ナカツタ爲デアリマシテ、而シテ其ノ當時痛論致シマシタコトハ、今日愈々ゾレガ深刻ニナッテ來テ居ルニ拘ラズ、依然トシテ政府ハ別ニ爲ス所ガナイト云フノハ、誠ニ遺憾千萬デアリマス、斯様ナル信念ノ下ニ只管沈黙ヲ守シテ居ツタノデアリマスガ、不幸ニシテ今日ハ言論ノ取締ガ實ニ嚴重ヲ極メテ居リマシテ、政府ノ政策ヲ批判シタリ、其ノ施設ヲ論議スル如キコトハ、一切許サレマセヌノデアリマス、僅力ニ許サレル所ハ、政府ヲ禮讚謳歌スルト云フコトノミデアリマス、聖代ノ今日、此ノ議會ヲ除イテハ正論ヲ唱ヘル場所ハ殆ドナイ、政府ハ殆ド忠言ヲ聽ク機會ガナイヤウナ情勢デアリマス、民ノロヲ塞グコトノ度ヲ過ゴシタナラバ、如何ナル事態ヲ生ズルデアリマセウカ、實ニ測リ難キモノガアリマス、斯カルガ故ニ私ハ不肖ヲ顧ミズ、茲ニ總理ノ所信ヲ伺ヒタイト思フ次第デアリマス、併シ事苟モ軍機ニ瓦ルモノ、及ビ國交ニ關スルモノニ付テハ此ノ際質問致シマセヌ、假令一億ノ同胞ガ齊シク心臓ヲ鳴ラシマシテ聽カムト欲シテ居リマシテモ、事變處理ニ關スルコトハ一切伺ヒマセヌ、唯、只管政府ノ當局者ガ良心ヨリ逆ル所ノ勇斷政上ノ一局部ニ止マルコトハイムヲ得ナイ果決ヲ以テ、有終ノ美ヲ濟サムコトヲ望ムノミデアリマス、従ツテ質問ノ範圍ハ内政上ノ一局部ニ止マルコトハイムヲ得ナイマセヌガ、其ノ點ハ御容赦下サイマシテ、次第デアリマス、言往々率直ニ過ギマシテ、時ニ或ハ禮ヲ缺クコトガアルカモ知レ

唯丹心一片報國ノ誠ヲ以テスルト云フコト  
ダケヲ御酌取ノ上ニ御答辯アラムコトヲ御  
願ヒスル次第デアリマス、第一ニ御尋ネシ  
タイコトハ、政府ハ昨年ノ十二月二十五日  
ノ週報ニ於テ、企畫院ノ名ヲ以テ所謂新體  
制ガ失敗シタコトヲ公表サレマシタ、其ノ  
理由トシテ、一ツハ官僚ノ統制技術ガ拙劣  
ニアツタコト、二ツニハ統制經濟其ノモノニ  
根本的缺陷ガアツタ云フコトヲ、大膽率直  
ニ言明サレタノデアリマス、果シテ然ラ  
バ、技術拙劣ニシテ民衆ヲ苦シメ、國家ニ  
大害ヲ與ヘタ所ノ官吏ヲ懲罰ニ附シタカ、  
第一ハ根本的ニ缺陷ガアツタ此ノ新體制ヲ  
立案シテ、國家ヲ危ウセシメタ所ノ官吏委  
員ヲ懲罰ニ附シタカ、此二點ヲ伺ヒタイン  
デアリマス、以下少シク其ノ理由ヲ述べマ  
シテ御答辯ノ御参考ニ供シタインデアリマ  
ス、所謂新體制ヲ强行シタ結果ハドウデア  
リマセウ、何萬トモ知レナイ多數……此ノ  
數字ハ私ハ態ト差控ヘマシテ、何萬トモ知  
レナイ所ノ多數ノ失業者ヲ出しシマシタ、又  
株ノ値下リダゲ見テ居シテモ百數十億圓ト  
カ言ハレテ居リマス、實ニ想像モサレナイ  
數字デアリマシテ、淒絶慘絶身ノ毛モヨダ  
ツバカリデアリマス、而シテ失業者ヲ、政  
府ハ之ヲ轉業者ト言ハレテ居リマスケレド  
モ、實ハ失業者デアリマス、生計ノ手段方  
法ヲ失ヒ餓ヲ待ツ失業者ガアルノデアリマ  
ス、此ノ中ニハ、時局自然ノ推移ノ爲ニ失  
業シタ者モアリマスガ、政府ノ官吏ノ強要ニ  
依ツテ失業ヲ餘儀ナクサレタ者モアリマ

ス、殊ニ恐懼ニ堪ヘナイノハ  
闇取引罪人トシテ處罰セラレマシテ、尊キ戸籍ヲ汚シタコトアリマス、而モ其ノ數ハ  
日ニ一々増加シツ、アルニモ拘ラズ、政府  
ハ此ノ上更ニ現行ノ刑罰ヲ以て尙足ラナ  
イトシテ、重刑嚴罰ヲ考慮シテ居ラレルト  
云フ噂デアリマス、政府ハ天ヲ仰イデ嘆キ、  
地ヲ叩イテ哭スル所ノ民ノ聲ヲ御聽キニ  
ナリマセヌカ、日夜神佛ニ祈ツテ其ノ加護  
ヲ求ムル所ノ民ノ悲シミヲ御存ジナイノデ  
セウカ、而シテ此ノ悲哀ハ、法律ノ缺陷  
ト官吏ノ失敗ノ結果デアツテ、全ク人爲ノ  
災禍アリマス、天災デモナク、又不可抗力  
デナツタモノデモアリマセヌ、信賞必罰ハ官  
紀ヲ維持スル所以、人ヲ害シ國ヲ危ウシタ  
所ノ者ガ、平然職ニ在ルヤウデアツテハ、政  
道ハ相立チマセヌ、民ハ常ニ罰セラレテ、役  
人ハ毫モ間ハレナイト云フヤウナコトデアリ  
マシタナラバ、決シテ是ハ國家ヲ泰山ノ安キ  
ニ置ク所以デハナイト考ヘマス、政府ハ今  
日迄之ニ對シテ何ヲナシタカ、又將來何ト  
ナサル御積リデアリマセウカ、御明答ヲ願  
ヒタイノデアリマス、第二、昨年ノ十二月  
二十五日ノ週報ニ於テ、政府ハ從來ノ新體  
制ガ失敗シタカラ、新タニ經濟新體制ヲ制  
定シテ、國內ノ全企業ヲ綜合統一シ、其ノ  
全企業ノ運營ヲ一元的ニ統轄スルコトヲ公  
表サレマシタ、而シテ之ヲ民間ニ割當テテ  
國家ノ必要ノ下ニ經營サセルト云フコトデ  
アリマス、「マルクス」主義者、共產主義者  
ノ標榜スル所ノモノハ、國家ニ依ル一元的

計畫經濟ノ實現デアリマス、國家ニ依ル  
一元的經濟ノ實現デアリマス、國家ニ全  
企業ヲ歸屬セシメテ、之ヲ一元的ニ運營  
ニスルカ、又ハ國有國營ニスルカト云フ  
ガ如キコトニナシテハ、是ハ敢テ問フ所デ  
ニアリマセヌ、又之ニ對スル爲ニ、暴力  
革命ヲ行フコトモ、或ハ社會民主的「マルク  
ス」主義ヲ以テスルト云フコトモ、ソレハ何  
レデモ彼等ハ問フ所デハナイノデアリマ  
ス、果シテ然ラバ、「マルクス」派ノ主張、「  
今回ノ經濟新體制トハ非常ニ類似シテ居ル  
モノデアリマス、我々ニハチヨット區別カ付  
カナイヤウデアリマス、政府ハ此ノ際、新體  
制ハ「マルクス」派ノ共產主義トハ本質的ニ  
違ツテ居ルモノデアル、所謂赤デナイト云フ  
コトヲ、詳細明瞭ニ説明スル義務ガ御有リダ  
ラウト思ヒマス、言フ迄モナク我ガ國ハ多  
年「マルクス」派共產主義ヲ以テ、國家ヲ害  
スルモノトシテ、又國體ニ副ハザルモノト  
シテ嚴重ニ之ヲ取締ツテ來タノデアリマス、  
テ、以テ其ノ害毒ノ蔓延ヲ防イデ居ッタノ  
デアリマス、從ツテ此ノ國家非常時ニ際シ  
マシテ、最モ是等ノ取締ヲ嚴ニスルノガ肝  
要デアル今日、赤ニ紛ラハシイト云フヤウ  
シ、本質ヲ判然ナラシムル義務ガアルト思  
ヒマス、故ニ此ノ點ニ關シテ政府ノ明瞭ナ

ル御説明ヲ願ヒタインデアリマス、第三ニ

御尋ネシタインハ、政府ハ、本年一月ノ週

報ニ於テ、翼賛會ノ政策局ハ、政府ノ現ニ

採リ上ゲテ居ル政策ト云フヨリモ、モット根

本的ナ恒久的重要國策ノ検討ニ重點ヲ置

ク、ト發表サレマシタ、モウ一遍申上ゲマ

ス、翼賛會ノ政策局ハ、政府ノ現ニ採リ上

ゲテ居ル政策ト云フヨリモ、モット根本的ナ

恒久的重要國策ノ検討ニ重點ヲ置イテ云々

ト、斯ウ發表ニナッタノデアリマス、此ノ意

味ハドウ云フコトデゴザイマセウカ、政府

ノ機關ガ、根本的ナ恒久的重要國策ヲ検討

スル能力ガナイト、或ハ能力ガ不足シテ居

ルト云フコトカラシテ、翼賛會ヲシテ之ヲ

爲サシメルノデアリマセウカ、將又翼賛

會ノ政治能力ガ政府以上デアル爲ニ、斯

カル大任ヲ負ハセルノデアリマセウカ、

事ハ國務大臣ノ輔弼ノ責任ニ關スル重大

事デアリマスカラ、又我ガ政治機構ニ關ス

ル大問題デアリマスカラ、敢テ政府ノ御明

答ヲ求ムル次第デアリマス、他ニ色々御尋

ヲシタイコトモアリマスケレドモ、御答辯

ノ御都合モゴザイマセウカラシテ、取敢ズ

ス(拍手)

(國務大臣公爵近衛文麿君演壇ニ登ル)

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 只今赤池君ヨリ、誠ニ憂國ノ至誠ニ基ク熱心ナル御質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、統制經濟ト云フコトニ付キヤマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

ト云フコトヲ週報ニ於テ認メテ居ル、然ル

ニ是迄ノ經濟統制ニ依ツテ國民ハドレ程苦

シメラレテ居ルカ、此ノ國民ノ犠牲ニ對シ

テ官吏ガ何等ノ責任ヲ執ラヌノハ甚ダ不都

合デハナイカト云フ御考ノヤウデアリマス、

是ハ私、此ノ週報ト云フモノヲ見テ居リマ

セヌカラ、詳シイコトハドウ云フ趣旨デサ

ウ云フコトガ書カレマシタカ、此處デチヨツ

ト御答辯ヲ致シ兼ネマスルガ、併シナガラ何

分此ノ物資ノ不足ノ際デアリマシテ、此ノ

物資ノ不足ヲ克服致シマシテ、軍需ノ充足

ヲ圖リ、又一面ニ於キマシテ國民生活ノ安

定ト云フコトモ考ヘナケレバナラスト云フ

爲ニハ、ドウシテモ可ナリ強度ノ統制ヲ必

要トスルコトハ、是ハ已ムラ得ナイノデア

リマス、而モ此ノ統制ト云フコトハ、今日

迄官吏ノ側ニ於キマシテモマダ經驗日尚淺

イノデアリマシテ、其ノ爲ニ隨分思ハザル

行キ過ギモゴザイマセウシ、行キ達ヒモゴ

ザイマセウシ、色々ト不行届、行キ過ギ等ノ

事柄ガ各所ニ於テ行ハレテ居ルト云フコト

ハ、私モ耳ニ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシ

テ、之ニ付キマシテヘ、政府ニ於キマシテモ其ノ

責任ヲ痛感致シテ居リマス、今後モ此ノ統制ノ

行キ過ギ、或ハ行キ違ヒト云フコトニ付キ

マシテハ、嚴ニ官吏ノ行キ方ヲ戒飭致シマ

シテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト思フノデア

リマス、人事ニ付キマシテハ、所謂信賞必

罰、官紀ノ振張ヲ圖リマシテ、出來ルダケ

リマス、經濟新體制ニ於テハ一元的計畫的

御期待ニ副ヒタイト考ヘテ居ル次第デア

リマス、是ハ此ノ際ヤルベキコトデナイ、斯様ニ考

ス(拍手)

統制經濟ト云フコトヲ唱ヘテ居ルガ、是ハ

所謂「マルキシズム」ト何等變リハナイデハ

ナイカト云フヤウナ御話ニ承ツテ居リマス、

色々新體制ト稱セラレル中ニハ、其ノ用語

等ニ於キマシテ、偶々「マルキシズム」等ガ

用ヒテ居リマスル用語ト一致シテ居ルト云

フヤウナコトモゴザイマセウガ、決シテ政

府ト致シマシテ此ノ新體制ハ、「マルキシズム」或ハ「ソヴィエト・ロシヤ」ノ機構ヲ模倣

スルト云フヤウナ考ハナイノデアリマス、

此ノ新體制ノ根本理念ハ、先日此ノ議場ニ

於テモ申述べマシタヤウニ、飽ク迄モ日本

精神ニ立脚シタモノデナケレバナラスト信

ズルノデアリマシテ、此ノ新體制ニ依ツテ

我が國體ノ本義ヲ益發揚シ、所謂臣道實踐

迄官吏ノ側ニ於キマシテモマダ經驗日尚淺

イノデアリマシテ、其ノ爲ニ隨分思ハザル

行キ過ギモゴザイマセウシ、行キ達ヒモゴ

ザイマセウシ、色々ト不行届、行キ過ギ等ノ

事柄ガ各所ニ於テ行ハレテ居ルト云フコト

ハ、私モ耳ニ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシ

テ、之ニ付キマシテヘ、政府ニ於キマシテモ其ノ

責任ヲ痛感致シテ居リマス、今後モ此ノ統制ノ

行キ過ギ、或ハ行キ違ヒト云フコトニ付キ

マシテハ、嚴ニ官吏ノ行キ方ヲ戒飭致シマ

シテ、萬遺憾ナキヲ期シタイト思フノデア

リマス、人事ニ付キマシテハ、所謂信賞必

罰、官紀ノ振張ヲ圖リマシテ、出來ルダケ

リマス、是ハ此ノ際ヤルベキコトデナイ、斯様ニ考

ス(拍手)

シテ御答ヘ致シマス  
〔赤池濃君演壇ニ登ル〕

○赤池濃君 只今總理大臣ヨリ御答辯ガア

リマシテ、總理大臣ノ御心持ハ大體諒承ス

ルコトガ出來マシタノデアリマスルガ、私

ガ御尋ネシタ所ノ三點ニ付キマシテハ、不

幸ニシテ第一點ノ半分ヲ除クノ外、第二點

第三點ニ付テハ御答辯ガアリマセヌ、第

一一點ニ付キマシテハ、信賞必罰ニ依ツテ官

吏ヲ戒飭スルト云フ御話デアリマシテ、私

ハ其ノ程度デハ濟ムベキモノデアルカドウ

カ、更ニ一考ヲ願ハナケレバナラスモノデ

ハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリ

マス、ソレカラ第一、第三ノコトニ付キマ

シテハ、御心持ハ分リマシタケレドモ、「マ

ルクス」派ト云フモノガドウ云フモノデア

ルカ、又我ガ國ガ數年來、或ハ十數年來、

之ガ爲ニドノ位惱マサレ、之ガ取締ニ付テ

苦心シテ居タカト云フコトヲ御考ヘ下サッ

タナラバ、之ニ類似スルヤウナモノニ對シ

テハ、何處迄モ是ハ「マルキシズム」デナイン

ダ、此ノ點ガ違フノダ、ソレダカラオ前達

ハ安心シテ居レ、斯ウ云フヤウナコトヲハッ

キリ仰シャラナイト國民ハ安心ガ出來マ

ハレタモノヲ見マスルト云フド、ドウモ我

我ニハ「マルクス」派ノ主義ト、差ハドノ位

アルノデアリマスカラシテ、此ノ點ニ付キ

マシテハ、モウ少シ明瞭ニ御説明ヲ願ヒタ

シ所謂革新ノ爲ノ革新ト云フガ如キコトハ、

是ハ此ノ際ヤルベキコトデナイ、斯様ニ考

ス(拍手)

(國務大臣公爵近衛文麿君演壇ニ登ル)

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 只今赤池君ヨリ、誠ニ憂國ノ至誠ニ基ク熱心ナル御質問

ガゴザイマシタ、之ニ對シテハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、統制經濟ト云フコトニ付キヤマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

トニ付キマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

ガゴザイマシタ、之ニ對シテハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、統制經濟ト云フコトニ付キヤマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

トニ付キマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

ガゴザイマシタ、之ニ對シテハ深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、統制經濟ト云フコトニ付キヤマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

トニ付キマシテ、是迄ノ統制ガ失敗デアッタ

キマシテハ私ハ是ハ容易ナラザル問題ダト  
思フノデアリマシテ、翼賛會ガドウ云フ地  
位ニ立ツテ居ルモノデアルカ、政府トノ關  
係ガドウ云フモノデアルカト云フコトニ付  
テ、モット突込ンダ所ノ御説明ヲ願ヒタイン  
デアリマス

○國務大臣（公爵近衛文麿君）　ドウモ私ノ御答方甚ダ不十分デアリマシテ恐縮ニ存ジマス、只今仰セラレマシタ第二ノ點ニ對スル御答ト致シマシテ、政府ノ考ヘテ居リマスル、此ノ所謂經濟新體制ト云フモノノ目的ハ如何ナル所ニアルカト云フコトニ付キマシテ、大體ノ輪郭ヲ申上げテ置キマス、ソレニ依リマシテ「マルキシズム」ト云フヤウナモノト如何ニ異ルカト云フコトハ、自ラ御諒解ガ戴ケルト思フノデアリマス、此ノ内外非常ノ時局ヲ克服シテ參リマスル爲ニハ巨額ナル物資ト又莫大ナル人力ヲ必要トルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、此ノ際、此ノ限リアル物資、限リアル人力ヲ以テ此ノ必要ニ應ジマスルガ爲ニハ、總テノ人力、物資ヲシテ其ノ最大能率ヲ發揮セシメテ、サウシテ國防目的ニ向ツテ、之ヲ重點ニ集中活用致シマシテ、國家經濟ノ總力ヲ舉ゲテ此ノ難局ノ突破ニ努メナケレバナラナイノデアリマシテ、經濟新體制ノ目的トスル所モ茲ニアルノデアリマス、ソレデ然ラバ其ノ内容ハドウ云フコトカト申シマスルト、只今申述ベマシタヤウナル目的ヲ達成

スルガ爲ニハ、第一ニ國家經濟ノ色々ナ部門ニ屬シマスル企業ヲシテ、企業ノ公益性ト云フモノノ自覺ノ下ニ、其ノ自主性ヲ保持シテ、積極的ナル創意ト努力トヲ十二分ニ盡シテ、各自ノ最大能率ヲ發揮セシムルト云フコトガ必要デアルノデアリマス、次ニ同一重要生産部門ニ屬スル企業ハ、其ノ運營ニ付キマシテ相互ニ密接ニ協力聯繫致シマシテ、有機的一體トナツテ生産能力ノ昂揚ニ努ムベキ組織ヲ整ヘナケレバナラヌノデアリマス、而シテ此ノ組織ハ、主トシテ重要ナル産業部門ニ付キマシテ、緊急ナルモノカラ必要ニ應ジテ逐次之ヲ實施スルト云フコトニ致サウト云フノデアリマス、第三ニハ、政府ニ於キマシテハ内外諸般ノ情勢ニ應ジテ、經濟ノ各部門ニ亘る綜合的ノ計畫ヲ樹立致シマシテ、之ニ基イテ物資、労務、資金等ニ付キマシテ、國家目的ニ即シテ其ノ總力ヲ發揮セシムルヤウニ適切ナル配分ヲ行ハナケレバナラナイノデアリマス、尙又經濟新體制ノ運營ニ當リマシテハ、官民ハ單ナル監督、被監督ト云フヤウナ對立關係カラ腕却致シマシテ、官民各、其ノ分ニ應ジテ生産増強ト云フ此ノ目的ノ達成ニ進ムベキコトニ重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、是ガ爲具體的ニハ、第一ニハ各企業ノ自主的ノ活動ニ期待スルト共ニ、各企業ヲシテ國家經濟ニ於ケル其ノ公益的職責ヲ自覺セシムル必要ガアルノデアリマス、

間ノ團體並ニ各企業ノ活動ニ俟ツト云フ  
コトガ本旨デアリマス、第三ニ、政府ノ  
經濟計畫ノ設定ニ當リマシテモ、實際ノ運  
營擔當者ノ意嚮ヲ之ニ參畫セシムルト云フ  
コトデアリマス、斯ウ云フ方途ヲ講ジマシ  
テ、官民一致、無用ノ摩擦ガ生ズルコトヲ  
出來ルダケ避ケマシテ、相携ヘテ之ニ當ラ  
ムトスルモノデアリマス、ソレカラ公益優  
先ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマスルガ、之ニ付  
キマシテモ色々誤解ガアルヤウデアリマス  
ルガ、公益優先ト云フコトハ私益ヲ認メナ  
イト云フコトデモナケレバ、又固ヨリ利潤  
ヲ否定スルモノデモアリマセヌ、此ノ點ハ  
先般發表致シマシタ經濟新體制確立要綱ニ  
於キマシテモ明カニ示シテ居ルノデアリマ  
ス、經濟新體制ニ於キマシテハ、各企業方  
其ノ自主的責任ニ於キマシテ運營セラレ、  
十分ノ創意ト工夫トヲ盡シマシテ生産ノ增  
強ニ努メマシテ、サウシテ利潤ノ増加ヲ圖  
ルト云フコトヲ期待シテ居ルノデアリマス、  
併シナガラ利益ノ追求ト云フコトヲ最高至  
上ノ目的トシテ之ニ專念シテ他ヲ顧ミナイ  
ト云フガ如キコトハ、決シテ許サルベキコ  
トデハナイト思フノデアリマス、各企業者  
ハ、其ノ企業ノ運營ニ當リマシテハ、常ニ  
公益的責任ヲ自覺シテ、其ノ企業活動ニ依ツ  
テ國家ノ爲ニ御奉公スルト云フコトガ、其ノ  
最高ノ目的トシナケレバナラスト考ヘマス、  
特ニ我が國現下ノ事態ニ於キマシテハ、此ノ  
點ヲ強ク要請サレテ居ルト思ヒマス、更ニ又  
今回ノ經濟新體制ノ趣旨ノ如ク、經濟ノ運營

ニ付キマンシテハ、企業ノ自主的活動ヲ尊重シテ、官ノ指道監督ハ大綱ニ止メ、総合的經濟計畫ノ樹立ニ當リマシテモ、成ルベク民間企業者ノ意図ヲ參畫セシメマシテ、此ノ點ニ於テ一層之ヲ強調スル必要ガアルト思フノデアリマス、第二ノ御尋ニ付キマシテハ之ヲ以テ御答ト致シマス、次ニ翼賛會ノコトニ付キマシテ御尋ガゴザイマシタガ、先程赤池サンノ御讀ミニナリマシタ週報ハ、私ハ讀ンデ居リマセヌガ、是ハ翼賛會ガ何カ或政策ヲ考ヘ、其ノ政策ヲ翼賛會報ヘ、私ハ讀ミニナツテ居ルヤウニ拜聽致シタ風ニ御讀ミニナツテ居ルヤウニノデアリマスガ、翼賛會ト云フモノハ、決シテ斯カル性質ノモノデハナイノデアリマス、翼賛會ハ屢々申述べマシタヤウニ、所謂上意下達、下意上達ノ機關ニアリマシテ、實行スルモノデハナイノデアリマス、其ノ點ガ政黨ト違フ所デアリマシテ、政黨ト云フモノハ獨自ノ政治的意見ヲ持ッテ行動スル所ノ團體ニアリマス、翼賛會ハ自ラ政策ヲ決定シ其ノ政策ニ依ッテ行動スルノデハナイノデアリマス、政府ノ定メマシタル政策ヲ國民ニ徹底セシムルヤウニ政府ト協力スル、是ガ上意下達デアリマス、又民間ニ於ケル或ハ希望或ハ不平、是等ヲ調査研究致シマシテ、之ヲ政府ニ傳ヘテ政府ガ政策ヲ立テル場合ノ参考ニ資スルト云フ、所謂下意上達、此ノ點ニ於キマシテ政府ノ政策樹立ノ參考ニハナリマセウガ、翼賛會自身

ガ政府ニ強要シテ、或政策ヲ實行セシムルト云フガ如キコトハ絶對ニナインデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ贊會ノ性質ニ鑑ミマシテ、能ク御了承ヲ願ヒタイト思フ

ノデアリマス

〔赤池濃君演壇ニ登ル〕

○赤池濃君 只今總理閣下ヨリ誠意ヲ御籠

メニナック所ノ御答辯ヲ承リマシテ、御心持

ハ分リマシタノデアリマス、御心持ハ分リ

マシタケレドモ、問題ノ重點ハ依然トシテ

矢張サ私ニハ解シ兼ネルノデアリマス、水

ヲ「コップ」ニ盛ラウガ德利ニ入レヨウガ、水

ニ於テ變リハナインデアリマス、「マルク

ス」派ガドウ云フモノデアルカ、即チ國家ノ

經營ニ於テ一元的ニ綜合的ニ計畫經濟ヲス

ルト云フコトガ「マルクス」ノ本體デアリマ

シタナラバ、ソレハドウ云フ風ノモノヲ容

レ物ニ入レヨウト、何カシヨウト、其ノ本

體ハ私ハ變ラナイト思フノデアリマス、今

總理閣下カラシテ運用ニ關スル所ノ御心持

ハ承ッタノデアリマスルガ、然ラバ新體制

デ考ヘテ居ルコトハ本質的ニ何處ガ達ノカ、

本質的ニ何處ガ達フカト云フコトニ付キマ

シテハ、我々ハ了解スルコトガ出來ナイン

デアリマシテ、矢張リ「マルクス」ト云フモ

カト云フコトノ疑惑ハ多分ニ拔ケナイノデア

リマス、何トカ此ノ點ハモウ少シハッキリ御

話ニナラスト云フト、天下ニ惑ヒト懐ク者ガ

尠クナイト思フノデアリマス、確信ヲ以テ專

ヲ遂行スルト、疑ヒナガラヤルノトニ於テ

ハ、熱意ガ達フノデアリマス、成績モ自ラ達フ

ノデアリマス、苟モ世間ニ疑惑ヲ懷カセル

ヤウナモノデアリマシタナラバ、ドウシタ

所ガ本當ニ魂ヲ打込ンデ眞劍ニ遂行スルコ

トハ出來ナイノデアリマスルカラシテ、政

府ガ新體制ヲ實行爲サルナラバ、爲サルヤ

ウナ風ニ、モット御心構ヘヲ御決メニナル

必要ガアリハシナイカ、此ノ點ハ異々モ私

ハ御願ヒスルノデアリマス、ソレカラ尙

自主的々々々々仰シヤイマスケレドモ、私共

ハ今回ノ經濟新體制ノ要綱ヲ見タリ、若シク

ハ此處ニアリマスル所ノ週報ノ色々ノ說

明ヲ見ル度ニ、尙疑ヲ増シマスノハ、經濟

要綱ニ於テ、今回ノコトハ民有民營ヲ以テ

本體トスルト云フコトガ書イテアリマス、

ソレカラ又企業者ヲシテ其ノ創意ト責任ト

ニ於テ當ラゼルシダト云フコトモ、謂ツア

マリス、若シモ民有民營ガ本體デアルト、

ソレカラ又企業者ヲシテ其ノ創意ト責任ト

ニ於テ當ラゼルシダト云フコトモ、謂ツア

ハソニユニアルノデアリマス、總テ當テガッタ

風ノ組織ニナッテ居ルノデアリマス、之ガ所

謂計畫經濟デアリマシテ、私共疑ツテ居ルノ

デアルトカ、チヤント企畫局、議會局ハド  
ウデアルトカ、項目ヲ擧ゲテ書イテ、其ノ  
中ニ特ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、  
之ヲ見マスルト云フト、政策局ニ於テハ何  
カ大キナ事ヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ疑ハ  
ザルヲ得ナイノデアリマス、私、新體制ノ  
翼賛會ノ綱領、規則ミタヤウナモノガ發表  
サレマシタ時ニ於テ、私ハ「ソヴィエト」政府  
ニ於ケル所ノ政府、共產黨、ソレノ關係ヲ  
見マシタカラシテ、ハット考ヘタコトガア  
ルノデアリマス、無論形ニ於テハ大分似テ居  
リマスカラ……精神ガ違ツテ居ルコトハ言フ  
迄モアリマセヌガ、我ガ國ハ皇道翼賛ヲ主ト  
スル所ニアリマスルシ、向フニ於テハ革命ヲ……  
「マルキシズム」ニ於ケルモノデアリマスカラ、  
此ノ精神ニ於テハ全ク違フモノデアルト云  
ト思ヒマスガ、「ソ聯ニ於キマシテハ、國  
家ハ黨ニ從屬スト云フ建前ニナシテ居リマ  
シテ、黨ガ國家ヲ支配スル譯デアリマス、  
是レアルガ故ニ、共產黨ノ黨首デアル所ノ  
「スターリン」ガ「クレムリン」宮ノ奥深ク入ッ  
テ居ツテ、政府ニ指圖スル譯デアリマス、  
其ノ組織ガ、茲ニ中央會ナルモノガアツテ、  
其ノ下ニ監督局トカ云フモノガアリマシテ、  
其ノ下ニ色々々ノ、監督局ガアリマスルシ  
〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著  
ク〕

ルシ、是ガ丁度今度ノ翼賛會ノ組織ト頗ル似テ居ルノデアリマス、翼賛會ノ中央本部ノコトヲ「スターリン」ノ所ニ當テ嵌メテ來ル、其ノ下ニアル組織部、政治部ヲ直グ當テ嵌メテ來ル、組織ハ全ク同ジデアリマス、何デ斯様ナ風ニ相類似シタルモノヲ御作リニナツカト私ハ思フノデアリマス、而シテ「ロシア」ニ於テハ、政府ト云フモノハ丁度我ガ國ノ翼賛會ニ於ケル所ノ協力會議ニ當ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、即チ政府ハ黨ニ從屬スルト云フコトガ表看板ニナツテ居ルノデアリマスカラ、丁度政府ガ此ノ通リニナツテ居ル、協力會議ト甚ダ相類似スル形ニナツテ居ル、ソレカラ其ノ下ノ方ニ區々ニ分レテ居リマスガ、之ヲ日本風ニ譯シマシタナラバ、或ハ内政部トカ財政部トカ青年部トカ訓練部トカ皆其ノ通リニナツテ來ルノデアリマス、私ハ何デ斯様ナ風ニ相似タル組織ヲ御採リニナツカト云フコトヲ先ヅ疑ツテ居ルノデアリマス、然シテサウ思ツテ見マスルト云フト、此ノ政策局ニ於テ斯ウ云フヤウナコトヲ翼賛會ガ宣言シテ居ル、此ノ文字ハ輕々ニ私ハ看過スペキ文字デハナイト思フノデアリマス、翼賛會ノ組織カラ見マスルト、私ハ翼賛會ト此ノ「ソ」聯ノ組織ヲ見マシテカラシテ、精神ハ全ク違ツテ居ルコトハ言フ迄モナイガ、形ハ似テ居ル、同時ニ形ガ似テ居ルト云フコトハ思想的ニ何カ影響ヲ受ケテ居リハシナイカ、或ハ暗示ヲ受ケテ居リハシナイカト云フ疑ガアリマス、而シテ政策局ガ「ロシア」ノ中心デアル

ス、高度ノ政治力ヲ主張シテ居ルノデアリマス、唯サウ云フ形ダケナモンダ、別ニ他意ガナインノダト云フコトデ、ソレダケデ以テ看過スルコトガ出來ルカドウカ深ク疑ヒツ、又大イニ憂慮スル譯デアリマス、之ニ反シテ一方「ドイツ」ノ組織カラ見マスルト云フト、「ドイツ」ノ組織ニ於テハ御承知ノ通り、初メ「ヒットラー」ハ「ナチス」ヲ提ゲテ、或ハ「ナチス」ニ依シテ天下ヲ取ツタノデアリマスケレドモ、一旦政權ヲ執ルヤ、黨所謂黨ハ國家ニ融ケ込ム、「ツェル・シュメールト云フノデアリマス、官吏ハ黨人デアルケレドモ、黨人ハ國務ニ一切容喙シテハナツエン」スルシテ、國家ニ融ケ込ムノデアラスト云フ制度ヲ採リマシテ、内政ニハ勿論「ガウ」「ゲマインド」ノ末ニ至ル迄、悉ク黨人ヲシテ國務ニハ容喙サセナイヤウナ組織ニナツテ居リマス、從ツテ黨ガ強度ノ政治力ヲ持ツトカ持タストカハ全然問題デナイ、又サウ云フコトヲ固ク彼ヌテ居ツテ許サナイノデアリマス、唯黨ノ首領デアル所ノアリマス、所謂無住所大臣、サウ云フコトハシマスケレドモ、黨ノ關係ト云フモ無住所大臣トシテ連絡サシテ居ルノデアリマス、所謂無住所大臣、サウ云フコトハシマスケレドモ、黨ノ關係ト云フモノハ黨ヲシテ政治ノ方ニ力ヲ持タサセナイ

ヤウニシテ居ル、此ノコトヲ思ヒマスルト、「ソ」聯ノ組織ト「ドイツ」ノ組織トハ非常ニ違ツテ居ルコトヲ明カニ感じケレバナラヌノデアリマス、我ガ翼賛會ノ情勢ヲ見マスルト云フト、「ドイツ」ノ組織ト相似テ居ル所ノモノハ、指道原理ヲ主張スルコト、ソレカラ政府ト連絡ノ爲ニデアリマセウカ何デアルカ分リマセヌガ、兎ニ角無任所大臣ヲ置イテ居ルコトモアリマスケレドモ、アトハ「ドイツ」ガ嘗テヤツチノケタヤウナコトヲ……是ハ取消シマス、其ノ指導精神ト、無任所大臣トノ連絡ノ外ハ、「ドイツ」ノヤリ方トハ、大分違ツテ居リマシテ、其ノ形ノ上ニ於テハ「ソ」聯ノ形ト大分似テ居ルノデアリマス、斯様ナ組織ガ、今日ノ我ガ國ニ於テ必要デアルカドウカト云フコトヲ私ハ深ク考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、同時ニ政治力ノ強化ラ主張スル所ノ理由ニ付キマシテ、唯ソレヲ一應ノ事トシテ受取ッテ宜イカト云フコトヲ、更ニ検討シナケレバナラヌヤウナ風ニ思フノデアリマス、私ハ左様ナ疑ヲ持チマス、憂慮ヲ持ツテ居リマスノデアリマスカラシテ、翼賛會ノ此ノデアリマシタナラバ、此ノ週報ニアル所ノ翼賛會ノ文字ヲスッカリ御訂正ナサルコトガ必要ダト思フノデアリマス、御訂正ナサリマスカドウデアリマスカ、ソレカラ尙遡シテデアリマスケレドモ、先程此ノ物資不足、人モ不足ノ時ニ於テデアルカラ、斯ウ云フ強

度ノ計畫經濟ヲ採ラナケレバナラヌト云フ  
御話ガアッタノデアリマス、私ハソレニ  
付キマシテ、閣下ハモウ少シ御附加ヘ  
ニナル言葉ガナイダラウカドウカ、即チ自  
分ハサウ思フノダ、思ッタト云フ三字ヲ御  
附加ヘニナル必要ガナイカドウカト云フコ  
トヲ更ニ伺ヒタイ、言フ迄モナク今日ニ於  
テハ物資ガ不足、人ガ不足、有ラユルコト  
ニ付テ不足勝チデアリマス、之ヲドウ運用  
シナケレバナラヌカト云フコトヘ、是ハ誰シ  
モ考ヘルコトデアリマシテ、閣下ガ日夜御  
苦心ニナツテ居ルコトニ付キマシテハ、我  
我ハ満腔ノ敬意ヲ以テ感謝シテ居ル次第デ  
アリマス、併シナガラ斯ウ云フ制度ヲ採ラ  
ナケレバ此ノ際切抜ケルコトガ出來ナイカ  
ドウカト云フコトニ付キマシテハ、自ラ問  
題ガアルノデアリマス、今閣下ハ是ガ必要  
ダカラ斯ウ採ツタト言ハレマスケレドモ、  
是レ以外ニ途ガナイカ、必要ダト思ッタト  
云フコトニ付テハ、私ハ何ヲカ言ハムヤデ  
アリマス、現ニ「ドイツ」ハ嘗テ計畫經濟ノ  
少シ眞似ヲシタコトガアリマス、即チ共產  
政府ガ「ドイツ」ノ政權ヲ握ツテ居ツタ時ニ於  
テハ、動モスルト統制ト計畫經濟トヲ混ジテヤ  
ラウト云フ形ガアッタノデアリマスガ、「ヒッ  
トラー」ガ政權ヲ執ルニ及ンデカラ、全然  
云フコトハ間違ツテ居ルト云フコトヲ辯明  
計畫經濟ヲ排斥シテ、サウシテ尙日本ニモ  
人ヲ寄越シテ、「ドイツ」ガ計畫經濟ヲ採ルト  
ノコトデアルト思ヒマス、サウシテ統制

經濟ニ依ヅテ、此ノ大戰爭ヲシ得ル所ノ準備ヲシテ居ツテ、赫々タル所ノ勝利ヲ獲テ居ルノデアリマス、計畫經濟ニ依ラナケレバ、此ノ大事件ハ遂行出來ナイ、斯ウ仰シヤルコトハ少シク斷定ニ過ギハシナイデセウカ、「ドイツ」ノヤツテ居ルコトハ計畫經濟デナク統制經濟デアル、「ドイツ」ミタイナヤリ方ヲシテ居ツテモ出來ルンダト、云フ事實ガアル、之ニ反シテ「ソ」聯ノ狀況ヲ見マスト、「ソ」聯ハ最初ノ革命以來極端ナル計畫經濟ヲ採ツタノデアリマスガ、到ル所ニ於テ行詰リヲ生ジテ、後退又後退、後退リヲシマシテ、段々後退シマシテ、到頭昔ノ影ハ今無イヤウニナツテ居リマス、私ノ所ニ其ノ當時ノ法令ノ蒐メタモノガアリマスカラ、御参考ニ供シテモ宜イト思ヒマスガ、兎ニ角後退シテ居ルノデアリマス、今我ガ國ガ此ノ戰時ノ一番大事ナ時ニ於キマシテ色々ナ事ヲ研究シテ、他山ノ石ヲ以テ我ガ玉ヲ磨クベシ、我ガ玉ヲ磨クニハ成功シタ所ノ國ノ例ヲ以テ磨クコトガ一番私ハ宜カラウト思ヒマス、失敗シタ國ノ例ヲ以テヤルト云フコトハドウカト思フ、現ニ成功シテ居ル所ノ「ドイツ」ノ方ノコトハ我我ハ参考ニスペキモノガ多イグラウト思フ、「ソ」聯ノ失敗ノ跡ヲ見テ、何カノ参考ニシヨウトスルノハ、ソレヲ採ラナイト云フ参考ナラバ宜シノイデアリマスケレドモ、多少デモ採ラウト云フコトデアリマシタナラバドウデアリマセウカ、而モ有ラユルモノヲ以テ之ヲ強化シヨウト云フ風ナコトニ

ナリマシタナラバ、私ハドウカト思フ、政府ノ御考ハ、之ニ依ツテ經濟的秩序ヲ維持シヨウト云フ御考デアリマセウケレドモ、現ニ御覽ニナツタ所ノ社會ハドウデアルカ、寧ロ經濟的秩序ノ維持デナク、經濟秩序ノ紊亂、經濟秩序ノ破壞ト云フ風ナ聲ガ、隨分ソコラ中ニ聞エテ居ルノデアリマス、秩序ガ段々良クナツテ居ルカ、破壞ノ方ニ傾イテ居ルカト云フコトハ、是ハ能ク御調べニナツタナラバ大體御分リダグラウト思フ、ソレカラ又事業合併々々ト云フ御言葉、御話ガアリマシタケレドモ、合併ニハ自ラ合併ノ方法ガアリマセウ、人ノ和ガナクテ、ソレデ唯無理ヤリニ抑ヘテ合併シタ所ガ、ソレデソレニ依ツテ國ガウマク行ク筈ガアリマセヌ、矢張リ合併スルニ付テハ合併スルヤウニ下拵ヘラシ、其ノ人ヲ選ビ、色々ナコトヲ計畫シテ、初メテ效ヲ奏スルノデアリマセウケレドモ、今日ノ合併ノ狀況ハ、合併ノ爲ノ合併デアル、殊ニ下ノ方ノ役人ノ方ニ於キマシテハ、自己ノ成績ヲ衒フ爲ニ、無理ヤリニ色々ナコトヲヤツテ居ル所ガ隨分アル、私ノ耳ニ入ツテ來ル所デモ、非常識ノ例ガ澤山入ツテ來ルノデアリマス、斯クノ如キコトハ決シテ國家ノ爲ニ利益ノコトデアリマセヌ、國家ヲ害スルコトガ多クアツモ、國家ヲ利スルコトハ少カラウト思フノデアリマス、是等ノコトニ付キマシテハ、政府ハモット御考ニチラナケレバ相成ラヌノデヤナイカト思フノデアリマス、先づ以上ノコトニ付キマシテ御尋ラシマ

卷之三

（國務大臣公爵近衛文麿君演壇ニ登ル）  
○國務大臣（公爵近衛文麿君）　政府ノ考へ  
テ居リマスル　經濟新體制ノ本旨ナリ　精神  
ナリガ、兎角誤解セラレマスルコトハ、誠ニ  
遺憾トスル所デアリマス、其ノ本旨ハ、先  
程私ガ申上ゲマシタコトニ依ッテ御了解ガ  
戴ケルト思フ、週報其ノ他ニ於キマシテ、  
之ヲ一般世人ヲシテ誤解セシムルガ如キ文  
書等ガゴザイマシタラ、尙私モ能ク讀ミマ  
シテ、取調ベマシテ、今後斯クノ如キ誤解  
ガ起リマセヌヤウニ、努メテ注意ヲ致シテ  
參リタイト考ヘテ居リマス

赤洲灘君澗壠二登川

○赤池濃君 只今總理大臣閣下ヨリ御鄭重  
ナル御挨拶ガアリマシタガ、ドウゾ私ハ更  
ニ、政府ノ發表セラレル所ノ文書デアリマ  
スルカラシテ、ソレヲ御覽ニナリマシテ、  
サウシテ十分ナ御研究ノ上、モウ一遍御答

官報號外

辯ヲ願ヒマス、私ハ新聞雜誌トカ其ノ他ニ付テ、私人ノ意見ナラ何デコンナコトヲ申シマセウ、政府ノ機關ノ雜誌ナリ、政府ノ意見トシテ出スモノデアリマスルカラシテ、是ハ捨テ置ケナイト思フ餘リニ色々ナコトヲ申上ダタ譯デアリマス、ドウゾ其ノ點ヲ御了承ノ上デ以テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、實ハ私ハ新體制ニ付キマシテ、農業ナリ商工ノ狀況ニ付キマシテ、非常ニ澤山伺ヒタイクデアリマス、ケレドモ本日ハ餘程時間モ取りマシタノデアリマスルカラ、其ノ他ノコトハ別ニ豫算委員會ニ於テ色々伺フコトニ致シマシテ、此ノ質問ハ是打切りタイト思フノデアリマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本日ハ此ノ程度ニ於テ延會致シタイト存ジマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、議事日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十五分散會